



10.30 世界のウチナーンチュの日
WORLD UCHINANCHU DAY

令和元年度 沖縄文化芸能指導者派遣事業 報告書



英国沖縄県人会 - JAPAN MATSURI 会場にて



沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課

令和元年度 沖縄文化芸能指導者派遣事業委託業務 報告書

目次

第1章 事業概要・行程詳細

1	事業趣旨	4
2	事業実施スケジュール	9
3	イギリス・ロンドン	
3-1	事業概要	11
3-2	旅行行程	12
4	オーストラリア・シドニー	
4-1	事業概要	22
4-2	旅行行程	23
5	ペルー・リマ	
5-1	事業概要	32
5-2	旅行行程	33
6	報告会	41
7	事業成果報告	42

第2章 メディア掲載事例

新聞・フリーペーパー	44
------------	----

第3章 派遣事業と連動した取り組みや、その他参考資料

首里城再建活動／関連資料	52
--------------	----

第1章 事業概要・行程詳細

ロンドン稽古場での記念撮影



シドニー公演での記念撮影



ペルー公演での記念撮影



1 事業趣旨

1) 事業概要

「世界のウチナーンチュの日」に関連してイベント等を実施する海外県人会に対し、沖縄の持つ多様で魅力的な文化芸能の指導者を派遣し、その活動を支援することで、沖縄が持つ魅力を海外に発信するとともに、海外県人会と沖縄のつながりを継承・発展・強化する。

2) 事業目的

- ① 「世界のウチナーンチュの日」の定着化（イベント開催支援）
- ② 海外県人会におけるウチナーネットワーク強化につながる文化的取り組みの拡大
- ③ 海外における関係者（特に若い世代）の沖縄文化等への興味・関心の拡大

3) 事業内容

海外県人会が主催する「世界のウチナーンチュの日記念イベント」に合わせて沖縄から文化芸能の指導者を派遣することを通して、母県沖縄との絆を強め「世界のウチナーンチュの日」のイベント等について、海外県人会が主体的かつ継続的に取り組んでいけるよう支援する。

4) 派遣先及び派遣芸能指導者

総合コーディネーター 平田 大一

①イギリス沖縄県人会

指導者 澤岨 幸一郎（園田青年会／青年会長、大太鼓、締め太鼓）
宮里 洋一（園田青年会／唄三線、地謡心構え）
金城 美沙（園田青年会／手踊り、着付け）

②シドニー沖縄県人会

指導者 新里 春加（宮城本流鳳乃會）
古波蔵 正信（琉星太鼓）

③ペルー沖縄県人会

指導者 宮城 直仁（創作芸団レキオス）
玉那覇 ロミナ・エルバ（玉城流冠千会）

総合コーディネーター

平田 大一（沖縄文化芸術振興アドバイザー）



【プロフィール】

1968年、沖縄県八重山郡小浜島生まれ。2001年「きむたかホール館長」、2005年「那覇市芸術監督」を歴任、2011年「沖縄県文化観光スポーツ部長」に抜擢、2013年から4年に渡り「（公財）沖縄県文化振興会」理事長に就任。2017年6月からはフリーランスの「沖縄文化芸術振興アドバイザー」として世界と沖縄をつなぐ活動を展開。今回の事業では、現地県人会と派遣する指導者をつなぎ、より成果を高める演出的要素を担うコーディネーターとして尽力、オハイオ、シカゴ、バンクーバー、ロンドン、シドニー、ペルーの全ての国に同行した。国内はもとより海外県人会より絶大な信頼を得る、沖縄の文化・芸能界のフロンランナー。51歳。

派遣先県人会との連絡及び調整業務を通じ現地県人会の要望を把握し、それにふさわしい指導員の人選と選定、ワークショップ及び指導プログラムの構成や進行の統括、また舞台やイベントの演出助言や企画提案など、幅広い専門知識と文化感性を持った総合的なコーディネーターとして、平田大一氏を起用。

【経歴】

- ・元 公益財団法人 沖縄県文化振興会 理事長 2013年6月～2017年6月
- ・元 沖縄県文化観光スポーツ部 部長 2011年4月～2013年3月
- ・世界エイサー大会2013年～2015年 大会会長
- ・第1回E i s a - E X P O 2016 総合プロデューサー兼統括責任
- ・世界エイサー大会2017年 総合演出

派遣指導者

■イギリス／園田青年会

澤岨 幸一郎（青年会長、大太鼓、締め太鼓）

宮里 洋一（唄三線、地謡心構え）

金城 美沙（手踊り、着付け）



「園田（そんだ）エイサー」は、旧越来村（ごえくそん）西里（にしざと）部落の「ヤキマージエイサー」が戦後園田に移り、今に引き継がれていると言われています。ちなみに「ヤキマージ」とは当時の部落名のことです。

エイサーの歴史を語る上でも重要なことではありますが、現在一般的にエイサーの衣装として知られるジュバン、ウチカケ、帯、脚絆というスタイルは、園田青年会が最初に生み出したものだと言われており、また、曲と曲の切れ間がないのも園田が生み出したものとも言われています。

園田エイサーは西里エイサーの型を崩さずに現在に至り、また一方では青年エイサーの新しいスタイルを生み出してきた、草分け的な存在として活動してきた希有な存在といえます。園田エイサー、その特徴は、テンポの速い曲に合わせた大太鼓、小太鼓の力強いバチさばきと動き。男は勇ましく、女は優雅で柔軟な手踊りであるとされ、その舞の魅力は語り尽くせないものでもあります。

派遣指導者

■オーストラリア／新里 春加（宮城本流鳳乃會 教師）



若手ながらも琉球舞踊の師範にしてあらゆる芸風にも対応可能な才能は天下一品です。学生の頃から「沖縄新歌舞団 大太陽（おきなわしんかぶだん うふていーだ）」の正規メンバーとして全国各地で巡演し数々の大舞台をこなし、沖縄県立芸術大学在学中にも着実に技を磨き様々な舞台での経験を積み重ね、海外派遣も多数実現して参りました。今回は、女性メンバーが主となるエイサーチームの底上げと「獅子舞」をモチーフにした新たな演舞を創作するチャレンジプログラムを目指すと思意込んでおります。宮城本流鳳乃会教師。

■オーストラリア／古波蔵 正信（琉星太鼓）



南風原高校郷土芸能コースから沖縄県立芸術大学に進学した伝統芸能のサラブレッドです。三線、笛は教師資格を持つほどの実力者でありながら沖縄芸能のプロ集団「琉星太鼓」の中堅リーダーとしても大活躍、特に野性味溢れる獅子舞の演舞は内外から絶大な支持を集めております。同行する、新里春加さんとは芸大の先輩後輩の中であり、またかつて、春加さんへ獅子舞の指導をした経験などもあり、今回春加さんとの派遣が実現致しました。経験豊富な技術と多彩な芸能活動は元より、獅子舞製作のノウハウも有しており、様々なワークショップや指導内容を展開することが期待できます。

派遣指導者

■イギリス／園田青年会

澤岬 幸一郎（青年会長、大太鼓、締め太鼓）

宮里 洋一（唄三線、地謡心構え）

金城 美沙（手踊り、着付け）



「園田（そんだ）エイサー」は、旧越来村（ごえくそん）西里（にしぎと）部落の「ヤキマーじエイサー」が戦後園田に移り、今に引き継がれていると言われています。ちなみに「ヤキマーじ」とは当時の部落名のことです。

エイサーの歴史を語る上でも重要なことではありますが、現在一般的にエイサーの衣装として知られるジュバン、ウチカケ、帯、脚絆というスタイルは、園田青年会が最初に生み出したものだと言われており、また、曲と曲の切れ間がないのも園田が生み出したものだとも言われています。

園田エイサーは西里エイサーの型を崩さずに現在に至り、また一方では青年エイサーの新しいスタイルを生み出してきた、草分け的な存在として活動してきた希有な存在といえます。園田エイサー、その特徴は、テンポの速い曲に合わせた大太鼓、小太鼓の力強いバチさばきと動き。男は勇ましく、女は優雅で柔軟な手踊りであるとされ、その舞の魅力は語り尽くせないものでもあります。

派遣指導者

■オーストラリア／新里 春加（宮城本流鳳乃會 教師）



若手ながらも琉球舞踊の師範にしてあらゆる芸風にも対応可能な才能は天下一品です。学生の頃から「沖縄新歌舞団 大太陽（おきなわしんかぶだん うふていーだ）」の正規メンバーとして全国各地で巡演し数々の大舞台をこなし、沖縄県立芸術大学在学中にも着実に技を磨き様々な舞台での経験を積み重ね、海外派遣も多数実現して参りました。今回は、女性メンバーが主となるエイサーチームの底上げと「獅子舞」をモチーフにした新たな演舞を創作するチャレンジプログラムを目指すと思意込んでおります。宮城本流鳳乃会教師。

■オーストラリア／古波蔵 正信（琉星太鼓）



南風原高校郷土芸能コースから沖縄県立芸術大学に進学した伝統芸能のサラブレッドです。三線、笛は教師資格を持つほどの実力者でありながら沖縄芸能のプロ集団「琉星太鼓」の中堅リーダーとしても大活躍、特に野性味溢れる獅子舞の演舞は内外から絶大な支持を集めております。同行する、新里春加さんとは芸大の先輩後輩の中であり、またかつて、春加さんへ獅子舞の指導をした経験などもあり、今回春加さんとの派遣が実現致しました。経験豊富な技術と多彩な芸能活動は元より、獅子舞製作のノウハウも有しており、様々なワークショップや指導内容を展開することが期待できます。

派遣指導者

■ペルー／宮城 直仁（創作芸団レキオス 副団長／事務局）



県内屈指の獅子舞演舞をメインに活動する「創作芸団レキオス」は、古き沖縄の民俗芸能の掘り起しとアレンジにも積極的に取り組み、多彩な活動を展開しています。世界エイサー大会においては史上初の3連覇（2012年～2014年）を達成するなどその実力は、誰もが認めるところです。一方、芸能活動を軸にした青少年の健全育成プログラムも充実しており、心技体すべてを兼ね備えた指導が行なわれます。エイサーはさる事ながら、今回、要望のあった「獅子舞製作の手法及び、メンテナンス」についてもきめ細かいアドバイスやワークショップの展開が期待出来ます。なお、今回は、副団長として実力、知識共に豊富な宮城直仁氏を指導者として派遣することが実現致しました。

■ペルー／玉那覇 ロミナ・エルバ（玉城流冠千会 教師）



ブエノスアイレス・アルゼンチン出身の玉那覇ロミナさんは、沖縄県立芸術大学邦楽学科楽劇コースに留学し、現在は玉城流冠千会教師として那覇拠点に活躍している琉球舞踊の第一人者です。また又吉古武道では初段を取得、スペイン語と日本語でのコミュニケーションもはかれるなど、語学面においても安心して現地県人との高いレベルでの交流が期待されます。なお、今回はペルー県人会からリクエストのあった「湊くり節」「護身の舞」の2曲を指導、着付けや髪結いなどのアドバイスします。

2 事業実施スケジュール

仕様書に基づく派遣先県人会を設定の上、企画コンペを行った。これと並行して派遣先期間や海外県人会へ要望調査を行い、派遣先スケジュール、指導形態を含めた専門家の選定を行った。

事前に、WEBネットワークを使用したビデオ会議を行った。

県人会との連絡手段は主に電話、メール等を活用し調整を行った。派遣先が決定した後は概ねスケジュールに沿って実施した。

2-1 事業実施スケジュール表



工期:契約締結日～令和2年3月13日

実施項目	令和元年							令和2年		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.事業体業務振り合せ及び専門家選定	■	■								
2.派遣日程、詳細スケジュール調整		■	■	■						
3.ロジ関係業務 旅行手配(一式)	■	■	■	■	■	■				
4.県人会連絡会議 の実施(Web会議)		■	■	■	■	■				
5.県人会業務調整 イベント、練習会場		■	■	■	■	■	■	■		
6.指導者の派遣 (ロンドン、ベルー、シドニー)				■	■	■	■			
7.シンポジウムの 開催(帰国報告会)							■	■	■	
8.動画コンテンツ制 作(動画、写真、他)				■	■	■	■	■	■	■
9.成果物の提出 (動画、報告書)							■	■	■	■

2-2 WEBビデオ会議

Web会議システムの構築

SNSなどを駆使して現地県人会とダイレクトに話し合う「Web会議」を定期的に関き、メールだけでは補えない細かな部分の調整を行うとともに、遠隔地との活発なコミュニケーションの充実を図ることで、情報の共有と事業の方針、進捗状況の把握を行いながら、ビデオ会議を実施いたしました。



事前に、WEBネットワークを使用したビデオ会議を行った。



NECソリューションイノベータ会議室 6/27



近畿日本ツーリスト沖縄会議室 9/3



県庁1階会議室 9/17



県庁5階 交流推進課 12/16

3 イギリス・ロンドン

3-1 事業概要

- 1) 派遣先： 英国沖縄県人会
- 2) イベント名： Japan matsuri
- 3) 日時： 2019年9月29日(日) 10:00 ~ 20:00
- 4) 指導内容： エイサー（大太鼓、締太鼓、手踊り、三線地謡）
- 5) 指導者： 園田青年会 澤岬 幸一郎・宮里 洋一・金城 美沙
- 6) 派遣期間： 2019年9月22日（日）～ 10月1日（火）
- 7) 県人会概要：
1982年に設立。現会長は渡名喜美和氏。
2009年から慰霊の日がある6月にロンドン沖縄青年会と「おきなわデー」を実施している。
三線会では2005年に園田青年会からエイサー指導をうけ、エイサー、琉球舞踊、三線古典音楽の演奏、空手の演舞などを行い、会場にはぶくぶく茶の茶会、沖縄の食べ物の販売や沖縄の伝統工芸、観光情報等の展示ブースを設置するなど、沖縄の認知向上に取り組んでいる。
来場者は8000人以上にもなり、イギリスと沖縄の相互理解を深めている。
- 8) 会場
トラファルガー広場（Trafalgar Square）
Trafalgar Square, Charing Cross, London WC2N 5DN イギリス



会場外観



指導者による会場視察

3-2-1 イギリス旅行行程（9月22日～10月1日）

イギリスへの沖縄文化芸能指導者派遣の全体スケジュールは以下の通りである。

英国沖縄県人会 ロンドン派遣スケジュール					
	日付	発地/滞在地	発時間	着時間	スケジュール
1	9/22 (日)		14:30		岡田青年会（薄紙、宮里、金城）
		那覇	16:55		那覇発、CX5379便にて空路、香港へ
		香港		18:35	香港着
		香港	23:55		香港発、CX251便にて空路、ロンドンへ向け出発 ---日付変更線---
2	9/23 (月)				平田コーディネーター出発（CX5379便/CX251便）
		空港	到着後		県人会迎え
		ロンドン市内	12:00	14:00	県人会副会長との打合せ
		SOAS大学	19:00	20:00	県人金との練習並びに打合せ（練習会場見学、練習内容確認）
3	9/24 (火)			5:40	平田コーディネーターロンドン入り
		空港	到着後		県人会、添乗員にて迎え
		トラファルガー広場	12:00	14:00	県人会と合流、ジャパマツリの会場（トラファルガー広場下見等）
		SOAS大学	18:00	20:00	SOAS大学にて、男唄め太鼓、女手踊り、三線練習をおこなう
		SOAS大学	20:00	22:00	県人会全員との顔合わせ及び意見交換会
4	9/25 (水)	ロンドン市内	午前中		県人会との打合せ
		ロンドン文化幼稚園	12:30	14:00	ロンドン文化幼稚園との交流会/ワークショップ（園児&保護者対象）
		SOAS大学	18:00	21:00	SOAS大学にて、男唄め太鼓、女手踊り、地謡
5	9/26 (木)	ロンドン市内	午前中		県人会との打合せ
		チュリップ幼稚園	16:30	17:30	Tulip London英語学園:交流会、エイサーを含めた沖縄芸能紹介
					会場:Hamington Prep School
		SOAS大学	18:00	19:00	SOAS大学にて、男唄め太鼓、女手踊り、地謡
		SOAS大学	19:00	20:00	SOAS大学向けワークショップ（進行役:デビット・ヒューズ先生）
		SOAS大学	20:00	21:30	SOAS大学にて、ロンドンエイサーチーム稽古（男唄め太鼓、女手踊り、地謡）
6	9/27 (金)	ロンドン市内	15:15	16:00	ロンドン文化幼稚園JAPAN祭りリハーサル
		SOAS大学	18:00	21:00	SOAS大学にて、男唄め太鼓、女手踊り、地謡
		滞在先	22:00	23:30	宿舎にて本イベントに向けた打合せ
7	9/28 (土)	チュリップ幼稚園	12:30	13:30	Tulip London英語学園のイベントにて沖縄文化紹介
		SOAS大学	15:00	16:30	SOAS大学にて、エイサーチームグループ練習
		SOAS大学	16:30	17:00	SOAS大学にて、「世界のウチナーチユの日制定に際する経緯と意義について」
		SOAS大学	17:00	18:00	野外にて、ロンドンエイサーチームリハーサル（男唄め太鼓、女手踊り、地謡）
8	9/29 (日)				イベント本番
		トラファルガー広場	10:00	20:00	①イベント名 Japan matsuri 場所:トラファルガースクエア
		トラファルガー広場	11:20	12:20	「ミルクムナリ」ロンドン文化幼稚園（園児、保護者、付き添い、記録）
		トラファルガー広場	16:30	17:00	岡田青年会スタイルのエイサー演舞（地謡、大太鼓、締め太鼓、手踊り、記録）
9	9/30 (月)	空港			県人会見送り
					出国手続・搭乗手続（岡田青年会、平田コーディネーター）
		ロンドン	12:20		ロンドン発、CX252便にて空路、香港へ向け出発 ---日付変更線---
10	10/1 (火)	香港		7:05	香港着
					（乗換ゲート移動）
		香港	12:10		香港発、CX5378便にて空路、那覇へ向け出発
		那覇		15:55	那覇着 「入国審査・通関・荷物受取」

3-2-2 指導実施概要

イギリス・ロンドン／英国沖縄県人会

1) 実施概要

日本の伝統文化から最新のトレンドまで網羅するイベント「JAPAN MATSURI」が9月29日（日）に開催されるのに合わせて、英国沖縄県人会へ以下のとおり芸能指導者を派遣し、エイサーの指導を行い、現地でのワークショップやイベントへの出演などを行った。

①指導者 園田青年会 澤岬 幸一郎・宮里 洋一・金城 美沙

派遣期間： 2019年9月22日（日）～ 10月1日（火）

②総合コーディネーター 平田 大一

派遣期間： 2019年9月23日（月）～ 10月1日（火）

2) 指導の様子

園田青年会はSOAS大学にてエイサーの指導を行った。2005年の園田エイサーとの交流でエイサー文化の素地はある為、今回は「締め太鼓・大太鼓」「女手踊り」「三線地謡（じかた）」などのきめ細かい指導が実現できた。一方、平田コーディネーターは次世代の育成を目的に、英国内にある2つの幼稚園施設を訪問、子ども達や保護者、職員らと交流しながら沖縄芸能の体験型講座を積極的に展開した。



指導は、締め太鼓、手踊り、地謡の三種類



手順を教えながらの着付けの指導



本格的な三線地謡のエイサーは海外でも稀



次世代への種まきも行いました

3) ワークショップ等の実施状況

①大学 交流会&ワークショップ

学校名：SOAS大学

日 時：2019年9月26日（土）19：00～20：00

参加者：学生8人、一般21人

演舞者：園田青年会(3)、解説進行：デビット・ヒューズ（SOAS大学教授）



解説するD・ヒューズ先生は
日本伝統音楽の専門家



様々な国籍の学生がエイサーに初挑戦！

②幼稚園 交流会&ワークショップ

学校名：ロンドン文化幼稚園

日 時：2019年9月25日（水）12：30～14：00 エイサーを含めた沖縄芸能紹介

2019年9月27日（金）15：15～16：00 Japanまつりリハーサル

参加者：第1回目>幼稚園児27人・保護者23人／第2回目>幼稚園児28人・保護者8人

演舞者：平田 大一、園田青年会(3)



沖縄の芸能を通じた交流の風景



ワークショップを前に気合十分



エイサーを披露、見入る子供たち



幼稚園 看板

③幼稚園 交流会&ワークショップ

学校名：Tulip London 英徳学園

日 時：2019年9月26日（木）16：30～17：30 エイサーを含めた沖縄芸能紹介
2019年9月28日（土）12：00～13：00 学園のイベントにて沖縄文化紹介

参加者：第1回目>幼稚園児25人・保護者、職員30人／第2回目>観覧者120人

演舞者：平田 大一、園田青年会(3)



年に一度の学園祭で沖縄文化をご紹介！



100人を超える観覧者で大賑わい



会場となった学舎内のミニステージ



沖縄の手踊りを解説

4) イベントの実施状況

「JAPAN MATSURI」は2009年から続く、日本の伝統文化と最新のトレンドが網羅された、英国最大の日本関連イベント。今回は、メインステージにおいて日系園児による創作エイサーの披露と、英国沖縄県人会を中心としたグループで伝統エイサーの演舞を紹介し、沖縄芸能や文化を広くアピールした。

①イベント名：JAPAN MATSURI 2019

②主催者：英国日本人会

③来場者：5万人（主催者発表）

④演舞者：「ミルクムナリ」園児・保護者44人、平田 大一

「エイサー」ロンドン沖縄三線会、英国沖縄県人会、園田青年会

地謡 7人（内、指導者1人） 大太鼓 2人（内、指導者1人） 締め太鼓 7人

手踊り 11人（内、指導者1人） 記録班 3人 計30人

⑤プログラム：11時20分 「ミルクムナリ」ロンドン文化幼稚園、平田 大一

16時30分 「エイサー」英国沖縄県人会、ロンドン沖縄三線会、園田青年会

▼パンフレットより

Programme

Main Stage Watch the official LIVESTREAM of the Japan Matsuri 2019 Main Stage at www.japanmatsuri.com powered by IJJ Europe. (*Livestreaming on the Japan Matsuri website may not be fully available depending on your Internet connection.)

11:20 Iwami Kagura by the Otsu Kagura Troupe
The first performance by headline act, the Otsu Kagura troupe, who have travelled from Japan especially to give awe-inspiring Iwami Kagura performances!

Eisa Dance by the London Bunka Yochien
Firm Matsuri favourites, the children of the London Bunka Yochien and their parents have been delighting the crowds with their version of a traditional Okinawan Eisa dance since the very first Japan Matsuri. It doesn't get any cuter than this, so be sure not to miss it!

Radio Taiso
Radio Taiso, or Radio Exercises, have been part of Japanese life since the 1920s, and people of all ages take part in these simple exercises to improve their health. Conducted in unison, and easy to learn, why not join 5-time Paralympic gold medalist Noel Thatcher and give the exercises a go?

16:30 Okinawa Sanshinkai / Kenjinkai and Sonda Seinenkai Eisa Group
Members of the famous Sonda Seinenkai Eisa Group have travelled all the way from Okinawa to perform with the London Okinawa Sanshinkai at Japan Matsuri 2019!
The Sonda Seinenkai originally taught Eisa to members of the London Okinawa Sanshinkai over ten years ago. With the support of the Okinawan Prefectural government and the Okinawa Kenjin-kai, this is the first time they have visited since then so this really is a unique opportunity.

During August in Okinawa groups perform Eisa. Eisa features drum dancing and hand dancing to a suite of songs performed live by Jikkata, who play the Sanshin and sing in the Okinawan language. The Sonda Seinenkai are possibly the most illustrious Eisa group in Okinawa, having won the Okinawa Eisa contest a record 7 times in 21 years.

2019
SUNDAY 11 SEPTEMBER 2019
12PM - 4PM TRAFALGAR SQUARE



JAPAN祭り開会式の様子



日本食の出店也大賑わい



エイサー演舞に欠かせない三線地謡チーム



大舞台でも堂々とした見事な演舞



幼稚園の子供たちも舞台上で活躍



英国の空の下で園田エイサーの勇姿が輝く！

3-2-3 指導者帰国後の所感

■澤岬 幸一郎（園田青年会）

今回、園田青年会を代表して、大太鼓・締め太鼓の指導をさせて頂きました。始めのイメージは、自分が指導を行えるか、とても不安な気持ちでした。実際に指導を行っていく中で皆がとても真剣な眼差しで、私達の指導を見て、県人会の方々が自ら、ここはどうしたらいいですか、この曲の足の運び方は何処に足を置くかなど様々な質問を積極的に聞いてくれたりして、自分自身の気持ちも、よしやってやろうという気持ちになり不安も吹き飛びました。

日数がたつにつれて、皆さんの踊りが上達していくと共に連日の練習で疲労感一杯にも関わらず熱心になって毎日、僕の練習についてきてくれました。自分自身その姿に鼓舞されて、最終日まで頑張ることができました。

本番の天気は雨の中でしたが、これまでの練習以上の演舞が出来ました。プライベートの時間でも観光や美味しい食べ物など本当に家族のように僕たちを迎えてくれました。

今回の素晴らしい経験をさせて頂き本当にありがとうございます。
次のウチナーンチュ大会では、是非一緒に演舞させて頂きたいです。
宜しくお願いいたします。

■金城 美沙（園田青年会）

沖縄文化芸能指導者派遣事業で、ロンドンへ行き7日間エイサー指導を行ってきました。

県人会の皆さんは、園田青年会が踊っているビデオを見ながら練習を行っているという事で、私たちが直接指導を行う事に対して、とても感謝してくれて、皆さん積極的に質問や練習を行ってくれました。ビデオだけでは、細かい部分の動きが分かりにくいという事で2時間その動きの練習をおこない、確実に指導を一人一人に行う事ができたので、とても良かったです。踊りの練習だけではなく、ヘーシ（掛け声）の出し方も皆で声を合わせながら本番に望むことができました。

また、県人会の皆さんは、練習以外にも、ロンドンの観光地を案内してくれたり、自宅に招いて料理をごちそうしてくれたり、と、現地の方々の暖かさを感じる事ができました。

本番当日、あいにくの雨ではありましたが、皆さんの練習成果が発揮された素晴らしい演舞になったと思います。自分自身とてもいい経験をさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

この派遣事業を通して、もっと沖縄の伝統文化を世界に発信していただきたいと思いました。ありがとうございました。

■宮里 洋一（園田青年会）

沖縄文化芸能指導者派遣事業にてイギリスロンドン沖縄県人会・ロンドン沖縄三線会への三線指導・エイサー指導を行った。

ロンドンは、沖縄県人会とロンドン沖縄三線会の2つの会が共存していて、三線会の芸能活動を通じて交流を重ねている。

技術的な事に関しては、SOAS大学のデービット先生が昔から沖縄の芸能に関わってる事や、大学の教室の練習会場の提供、週に1回の定期練習によりレベルは高く感じた。

三線指導は、唄い方の細かい節回し、唄入れのタイミング、抑揚感のつけ方、速さの統一などを指導。新しい4曲を繰り返し反復練習。

エイサー指導は、2005年時に指導した5曲から4曲を追加した計9曲を希望。当初は、難しいと思われたが県人会の積極的で熱心な姿勢に共感し指導を実施。もともと19時~20時の1時間程度の練習予定が、連日18時~22時近くの3時間以上の練習となった。

新しい振付を短期間で習得するには体力的・精神的にもかなりキツかったと思うが、日に日に上達する姿をみて県人会/三線会の今回の事業にかける意気込みを共感。

時間が経つのも忘れ、指導に没頭できた。

交流会の場でいろいろとお話しした中で印象に残っている事は、ロンドンではウチナンチュとしてのルーツはなくても、沖縄の事が好きな方や三線・エイサーなどの沖縄文化が好きな方であれば、沖縄県人会、三線会のメンバーとしての活動を行っているところでした。

まさに「行逢ちゃりば兄弟」の精神が如実に表れていて、とても好感が持てた。

ジャパンまつりでは、途中雨の降る場面もあったが精一杯演舞し、最後はカチャーシーで盛り上がった。

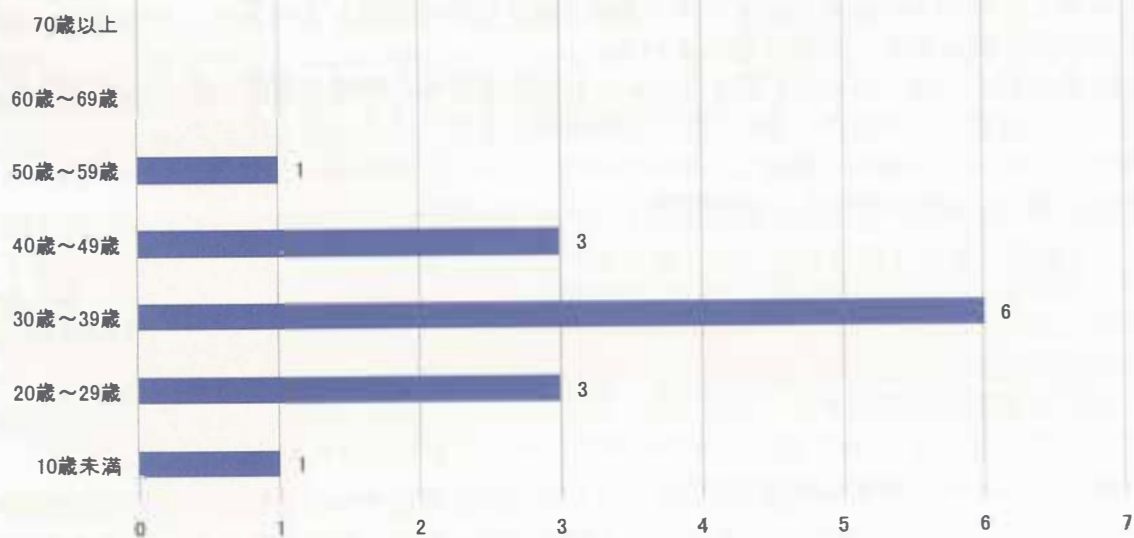
当然の事ながらほとんどの方が沖縄に行きたがっていて、今回の事業を一過性のものとせずSNSなどを活用し交流を続け、次回のウチナンチュ大会へ繋げていけるようにしたい。

●感じたこと

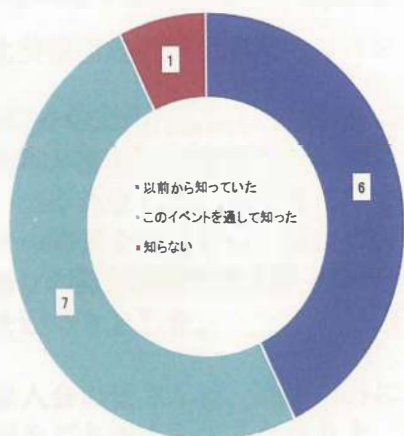
空気が乾燥している事、また沖縄と空気が違う事から喉に気を付けた方が良い
(部屋で使用する加湿器は持参した方がいいと思われます)

3-2-4 参加者アンケート

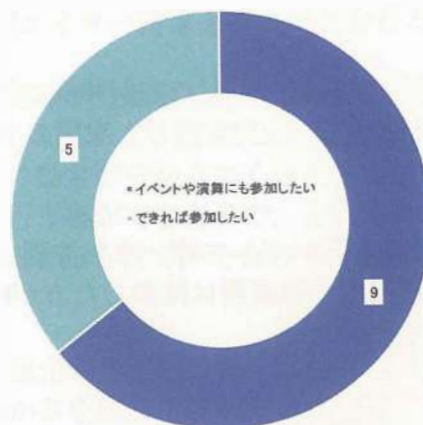
①年代を教えてください



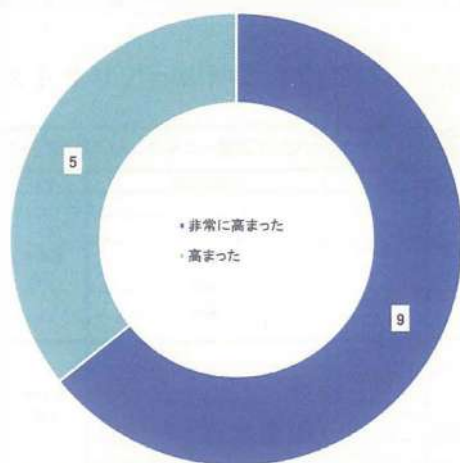
②世界のウチナーンチュの日を知っていますか？



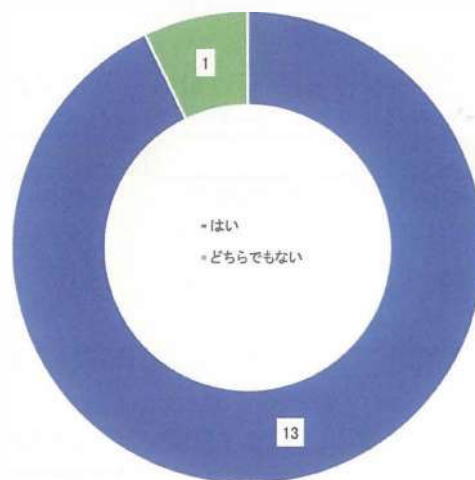
③沖縄県人会が「世界のウチナーンチュの日」のイベントを開催した場合参加したいと思いますか？



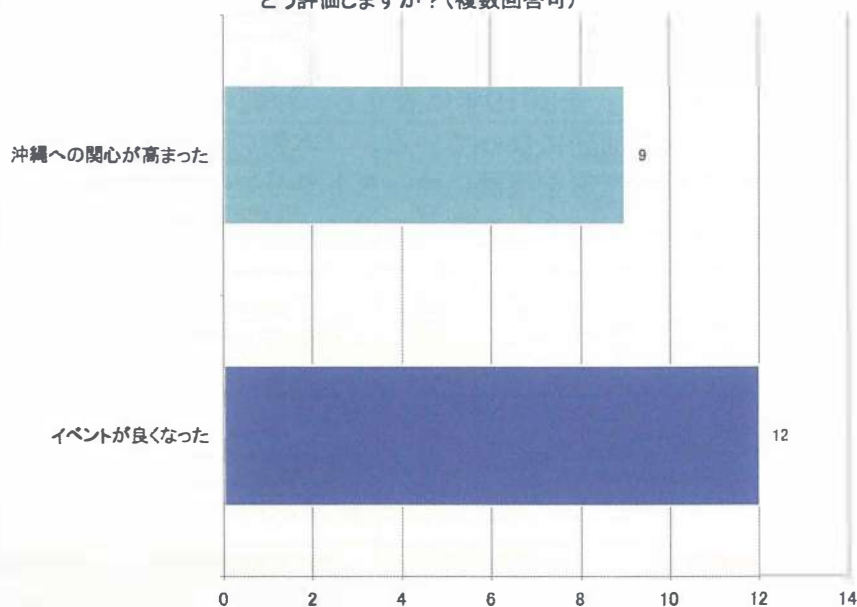
④今回のイベントに参加して、沖縄の文化・芸能や「世界のウチナーンチュの日」について関心が高まりましたか？



⑤指導を受けたことを今後も継続して、他の県人会イベントでも披露したいと思いますか？



⑥今回、沖縄県が文化芸能指導者を派遣したことをどう評価しますか？(複数回答可)



⑦プログラムで一番印象に残っていること、またウチナーネットワークを強化するために何が必要か、その他の感想などがあれば教えてください。

- ・ヨウイチさんとエイサー民謡を練習する機会。皆さんとても優しく支えてくれた。
- ・特にビジネス面でのネットワークがあれば強みになると思う。
- ・訪問を増やす事によって、ユニークなフォーメーションに改良できると思う。

4



オーストラリア・シドニー

4-1 事業概要

- 1) 派遣先： シドニー沖縄県人会
- 2) イベント名： 沖縄ソウルフェスティバル「くくる祭」
- 3) 日時： 2019年11月10日(日)15:00-17:00
- 4) 指導内容： 琉球舞踊、エイサー、三線
- 5) 指導者： 新里 春加（宮城本流鳳乃會 教師）、古波蔵 正信（琉星太鼓）
- 6) 派遣期間： 2019年11月3日(日)-11月12日(火)
- 7) 県人会概要：
1997年に設立。現会長は浦崎政美氏。
新旧ウチナーンチュ移民者と沖縄大好きシドニーナイチャー達が中心となり、「豪州かりゆし会」を2017年に、「シドニー三線会」を2019年に設立し、沖縄の伝統文化や音楽を発信する活動を中心に、この数年活動が活発になっている。「本物の沖縄音楽、文化を伝えたい！」と意気込み、今回の指導者派遣を契機にオーストラリア在住のウチナーンチュネットワークの強化、二世・三世へ伝統文化を継承できる人材の育成を目指している。
- 8) 会場
パディントンRSL (Paddington RSL)
Oxford st Paddington,NSW 2021



会場ホール外観



ホール室内の様子

4-2-1 オーストラリア旅行行程（11月3日～11月12日）

オーストラリアへの沖縄文化芸能指導者派遣の全体スケジュールは以下の通りである。

④シドニー沖縄県人会 シドニー派遣スケジュール					
日数	日付	発地/所在地	発時間	着時間	スケジュール
1	11/3日 (日)		14:30		那覇国際線ターミナル3階集合（新里、古波蔵）
		那覇	16:55		那覇発、CI 123便にて空路、台湾へ
		台北		18:35	台北着
		台北	23:55		台北発、CI 51便にて空路、シドニーへ向け出発
2	11/4日 (月)	シドニー到着	到着後		平田コーディネーター出発（CI 123便/CI 51便）平田様
		ホームステイ先	13:00	14:30	県人会迎え
		ホームステイ先	19:00	21:00	指導者は滞在先へ移動（荷物関係整理） 県人会、関係者との懇談会
3	11/5日 (火)	シドニー市内	到着後		平田コーディネーター現地入り
		Paddington RSL	11:00	16:00	派員員迎え
		ホームステイ先	18:00	20:00	練習会場（楽器、ステージ、客席チェック） ホー・紅美子宅（三線会、歌の稽古指導）
4	11/6日 (水)	Paddington RSL	11:00	16:00	本番に向けた舞台裏から同僚までの流れ確認、演奏指導、エイサー指導
		Paddington RSL	16:30	17:30	沖縄文化チルドシワークショップ（平田コーディネーター）
					休憩及び夕食
		ホームステイ先	19:20	21:00	ホー・紅美子宅（三線会、歌の稽古指導）
5	11/7日 (木)	Paddington RSL	11:00	14:00	舞踊経験者と未経験者との調整稽古
		Paddington RSL	14:30	15:30	大獅子ワークショップ（大獅子体験）
		Paddington RSL	15:30	17:00	本番に向けた調整稽古（オープニング～エンディング）
		Paddington RSL	17:30	19:30	MC、音出し、テクニカル等確認、エイサーメンバーは、ハイドパークにて練習
6	11/8日 (金)	日本領事館	10:00	10:30	日本領事館訪問（指導者・新里、古波蔵、平田コーディネーター、県メンバー、派員員）
		Tropical Soul Dance Studio	11:30	17:00	演奏指導、エイサー指導（折り、マミドーマ、かざやで風、四つ竹）
		ホームステイ先	19:00	21:00	ホー・紅美子様宅にて三線練習
7	11/9日 (土)	Hyde Park	10:00	12:00	ハイドパークにて自主練習（エイサーメンバー）
		Tropical Soul Dance Studio	12:30	13:30	演奏指導、エイサー指導（折り、マミドーマ、かざやで風、エイサー）
		Tropical Soul Dance Studio	13:30	14:30	三線会練習並びに舞踊メンバー着付け
		Tropical Soul Dance Studio	14:30	17:30	本場にもつた衣装早着え、小道具確認
8	11/10日 (日)	Tropical Soul Dance Studio	11:00	14:00	リハーサル（主に照明、音響との打合せ） 国交局主体・共催団体等「シドニー沖縄クラブ、基州がりゆし会、シドニー三線会」 ・イベント名:「Okinawa Soul Festival」 KUKURU SAI
		Tropical Soul Dance Studio	14:30	18:00	開演:14時30（開始時間:15時00～17時00）
9	11/11日 (月)	シドニー市内	12:00	14:00	意見交換会（県人会、関係者）
					県人会見送り
		空港	19:00		「出国審査・通関・搭乗手続」（新里、古波蔵、平田コーディネーター）
10	11/12日 (火)				シドニー発、CI 52便にて空路、台湾へ
		台北		4:30	台北着
		台北	8:15		乗換ゲートへ移動
		台北			台北発、CI 120便にて空路、那覇へ向け出発
		那覇		10:45	那覇着 「入国審査・通関・荷物受取」

4-2-2 指導実施概要

オーストラリア・シドニー／シドニー沖縄県人会

1) 実施概要

シドニー沖縄県人会が世界のウチナーンチュの日を祝うイベントを11月10日（日）に開催するのに合わせて、以下のとおり芸能指導者を派遣し、エイサーの指導を行い、現地でのワークショップやイベントへの出演などを行った。

①指導者 新里 春加（宮城本流鳳乃會 教師）、古波蔵 正信（琉星太鼓）

派遣期間：2019年11月3日（日）～12日（火）

②総合コーディネーター 平田 大一

派遣期間：2019年11月4日（月）～12日（火）

2) 指導の様子

シドニー、パースの沖縄県人会メンバーを対象に、古典や民謡の三線指導、創作的な琉球舞踊及び、エイサーの指導、着付け・メイクのワークショップ等を行った。平田コーディネーターはイベント運営の助言や演出面でのアドバイス、進行台本の作成過程なども指導した。



ハイレベルなエイサー指導の様子



シドニーらしく屋外でのエイサーの指導



琉球舞踊の指導



三線の指導



三板ワークショップ



メイクのワークショップ

3) ワークショップ等の実施状況

①沖縄文化チムドンワークショップ

会 場：Paddington RSL

日 時：2019年11月6日（水）

16：30～17：30

参加者：28人

演舞者：平田 大一



ウチナーネットワークについて勉強会

②大獅子ワークショップ

会 場：Paddington RSL

日 時：2019年11月7日（木）

14：30～15：30

参加者：リーダーとなる8人

演舞者：新里 春加・古波蔵 正信



獅子舞の指導の様子

4) イベントの実施状況

- ①イベント名：沖縄ソウルフェスティバル「くくる祭」 /11月10日（日）
- ②実施主体：シドニー沖縄県人会
- ③来場者：240人 その他、マスコミ（琉球放送現地特派員、現地プレス関係）など
- ④演舞者：85人 平田 大一、新里 春加、古波蔵 正信、照屋 清司、具志好江、
シドニー三線会、エイサーチャンプルー、TIDA-パース沖縄歌舞団
沖縄空手道剛柔流明武館王道場、シドニーさくら合唱
- ⑤プログラム：※当日の配布物は無く、スタッフ資料を参考に事務局で作成

第1部

- 1 玉城知事の動画挨拶
- 2 主催者挨拶 浦崎 政美シドニー沖縄県人会 会長
- 3 知事メッセージ 代読 伊田 幸司交流推進課 課長
- 4 来賓挨拶 在シドニー日本国総領事館 紀谷 昌彦 総領事
- 5 幕開け「祈りキューナー」ノロ役：具志 好江さん他
- 6 歌三線と舞踊 演奏：シドニー三線会、笛：古波蔵 正信、太鼓：具志 銀汰朗
 - ①舞踊「かぎやで風」新里 春加ほか
 - ②斉唱「安里屋ゆんた」
 - ③斉唱「芭蕉布」
- 7 琉舞小獅子舞「滝落とし」小獅子：安江、さや、アイリン、レイナ、明子、ゆき
- 8 空手演武「型紹介」 演武：沖縄空手道剛柔流明武館王道場
- 9 創作エイサー「久高～仲順流り」エイサーチャンプルー、TIDA-パース沖縄歌舞団
- 10 独演「遊びションガネー」歌三線：ホー 紅美子 舞踊：新里 春加 笛：古波蔵 正信
- 11 八重山舞踊「マミドーマ」舞踊：春加、明子、ゆき、レイナ、好江

〈休憩〉

第2部

- 12 幕開け舞踊「四つ竹」舞踊：新里 春加、ホーキンス 明子
- 13 シドニーさくら合唱団
 - ①涙そうそう
 - ②島唄（共演：シドニー三線会有志メンバー）
- 14 スペシャルプログラム「沖縄ソウルメドレー」
 - ①「ダイナミック琉球」 平田 大一、古波蔵 正信、照屋 清司
 - ②「大獅子」 平田 大一、新里 春加、古波蔵 正信
 - ③「ミルクムナリ」平田 大一、エイサーチャンプルー、TIDA-パース沖縄歌舞団
 - ④「年中口説」 エイサーチャンプルー
 - ⑤「豊年音頭」 総出演
- 15 閉会の挨拶 ホー 紅美子 シドニー沖縄県人会副会長
- 16 記念撮影



焼失した首里城を偲び演奏された「芭蕉布」



沖縄の伝統の心を伝える空手の披露



練習の成果を今ここに！見事なエイサー演舞



彩りも鮮やかな古典舞踊の紹介



獅子に頭をかじられて無病息災に(笑)



フィナーレは会場一体のカチャーシー！

4-2-3 指導者帰国後の所感

■新里 春加（宮城本流鳳乃會）

今回のシドニー沖縄ソウルフエスティバル〜くくる祭〜、無事大成功に終えることができ、本当に感謝と安堵の気持ちでいっぱいです。チケットは全て完売、本番休憩中の物販もお客様で賑わい、演目ごとに拍手が沸き起こり、最後は観客、演者みんなが入り乱れて踊り、カチャーシーの文字通り、全員の沖縄愛が一つに掛け合わさり一体となった時間でした。ウチナーネットワークが広く深く繋がったと実感しています。

私自身、初めて派遣事業の指導者として参加させて頂いたこと、舞踊人生において大きな経験となりました。琉球舞踊の芸歴は33年。大獅子は始めて5年余りでまだ100公演ほどしか経験していませんが、女性が務める大獅子の貴重さも実感しました。沖縄の歴史、芸能、文化は素晴らしいと常日頃から感じ、誇りをもって活動していますが、海外にいながら沖縄の芸能に誇りを持ち、楽しさを共有している県人会の皆さんと深く交流することで学ぶことが多く、改めて芸能家としての立ち位置を考えさせられました。県内外海外へのエイサーの普及はとどまることなく広まり続ける一方で、近年の琉球舞踊の広まりはそこまで至っていないと感じていて、それは衣装小道具の多さ、所作を体得することの難しさ、ステージとしての見せ方などからだろうと思います。なので琉球舞踊だから表現できることを、今回くくる祭で紹介したいと思っていました。

演目の”祈り”では沖縄の自然を敬愛する心とおなり神精神、”かぎやで風”では琉球の歴史と国王への崇敬、”マミドーマ”ではコミカルと沖縄の土臭さ、”四つ竹”では優雅さと沖縄の色鮮やかな色彩美、”遊びションガネー”ではウチナーカラジとこねり手、情け歌と心情などと、琉球舞踊を通して沖縄の精神、気品と土着といった幅広い魅力を伝えることができたと思います。

三線会の生演奏、合唱団の美声、力強い空手、小獅子を扱う創作舞踊、勇壮な大獅子、ダイナミックなエイサー、そこに平田さんが加わることで最高のパフォーマンスとして完成した舞台、沖縄でもこれだけ充実した演目はなかなか観ることができないのではないのでしょうか。

芸能を演じ伝える実演家の私たちがいて、県内外、海外で沖縄を愛する人々がいて、そのうちなネットワークが廃れることないよう支援してくださる県があって、その個々を繋ぎ合わせるコーディネーターがいて。

全てが繋がる事で沖縄の歴史が明るい未来へ続いて行くんだと実感致しました。

実際に今でもSNSなどでメンバーと繋がっています。沖縄に来るときには琉舞の稽古をしようとしてきました。このご縁を大切にして、イチャリバチョーデーの精神で皆さんと繋がっていきたいと思います。

素晴らしい事業に携わる事が出来て感謝しています。
ありがとうございました。

■古波蔵 正信（琉星太鼓）

まずは、この事業に参加させていただきまして、関わった全ての皆さまに心より感謝申し上げます。現在も地元、沖縄で芸能を学び、現在勤めている会社でプロとして、これまで培ってきた技術を披露する場面に恵まれており、改めて贅沢な環境に自分自身がいると感じました。

現地での指導を通して、率直な感想を述べますと、タイムスケジュール的に正直きつかったです。しかし、一人一人の学ぶ姿勢に心打たれ最後までやりきることができました。なぜなら、参加者全員の意識がとても高く、食欲で、私たち指導者の一足一手の仕草、伝えたい言葉、意識、全てを吸収しようとする姿勢がとても印象的でした。

本当に心の底から学びたいという気持ちが溢れて出ており、その気持ちが私の原動力となり、最後までスタミナ切れせずにこのタイムスケジュールを乗り切ることができました。

今回、私の一番の収穫は参加者皆さまの「学ぶ心」でした。よく「初心を忘れずに」など聞いたりしますが、私自身「初心を忘れず」の気持ちで沖縄芸能に携わってきたつもりでしたが、全くそんなことはなく、今回、本物の「初心」を思い出させていただきました。その「心」を忘れずに、精進していきたいと同時に、世界のウチナーンチュの為に自分は何ができるのか考え、実行していきたいと思います。

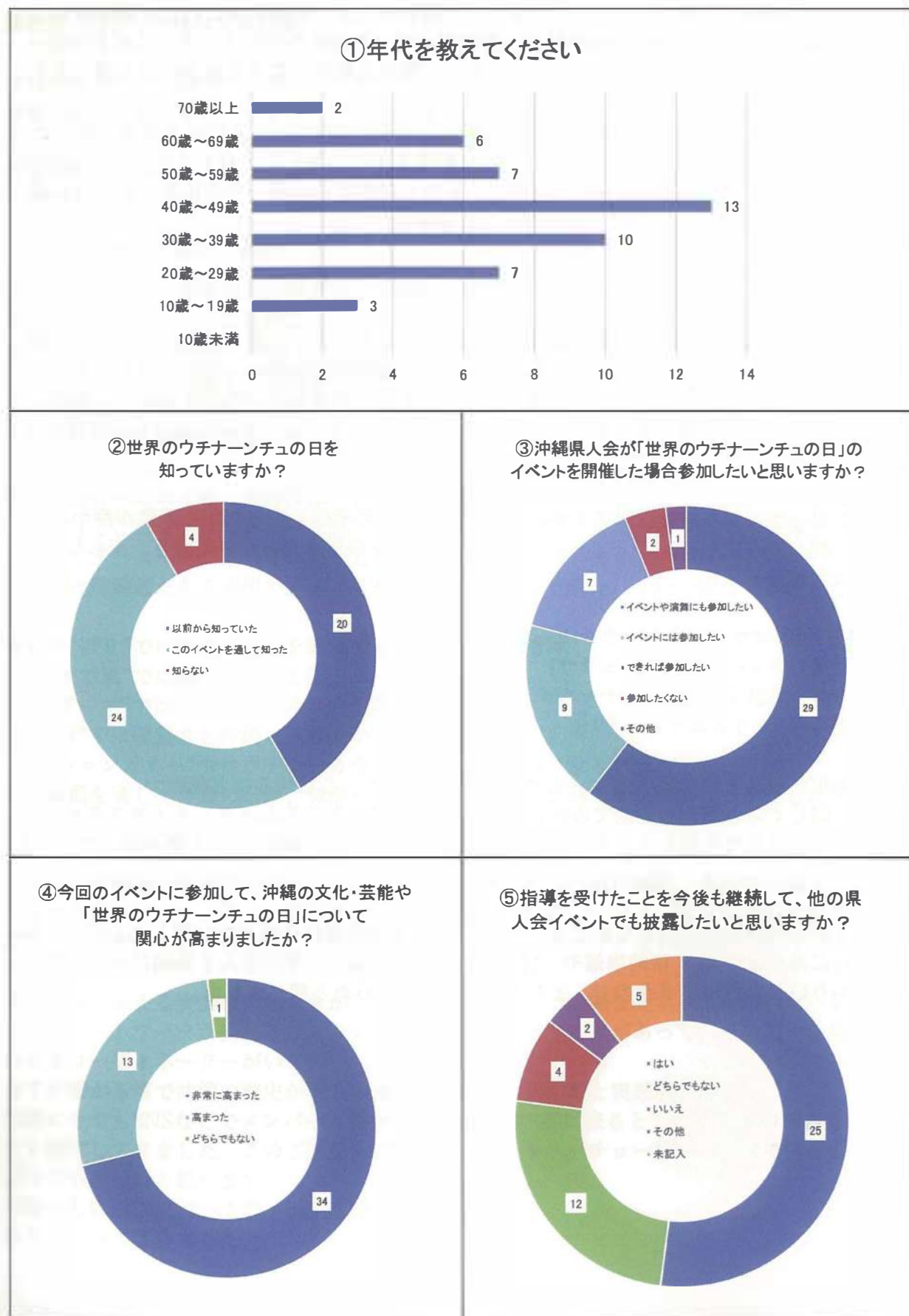
個人的な思い出でこちらに記載するか悩みましたが、この所感を書きながら琉歌が浮かんだので一句読んでみました。シドニー入りした初日から空が昼は青空がさえ渡り、夜も月と星空でとても綺麗と感じ、、、

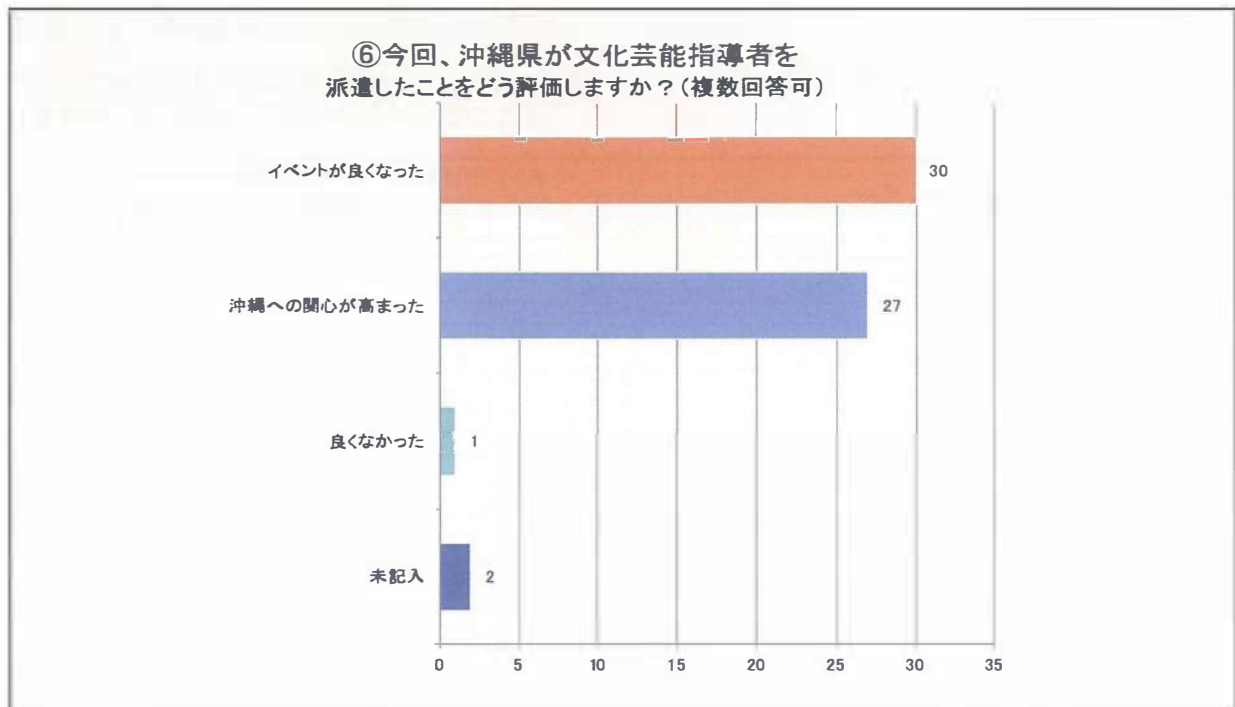
『豪州と沖縄(ゴウシュウトウウチナー)
空や互美らさ (スラヤタゲジュラサ)
学でいचार肝や (マナディチャルチムヤ)
共に美らさ (トゥムニチュラサ)』

歌意) 豪州(オーストラリア/シドニー)の空も、沖縄の空も、心に残るほど綺麗でその空と同じぐらい関わった全ての皆さま(現地の参加者、もちろんボランティアスタッフ)の澄み切った心はとても美しく、その心に感化され我々指導者(沖縄組)の心も澄み切っていくようだ。

個人的な思いばかりで大変申し訳ございません。本事業の制作や進め方に関しましては、私からは特にありません。事前準備や、情報共有を数ヶ月前から平田さんを筆頭にラインで様々なやり取りを行ってきたので、その点はとても良かったと感じました。

4-2-4 参加者アンケート





⑦プログラムで一番印象に残っていること、またウチナーネットワークを強化するために何が必要か、その他の感想などがあれば教えてください。

・こういったイベントを今後も開催するべき。ネットワークは私たちが繋げるととても大事なものの。ウチナーンチュである事を誇りに思う。

・ダイナミック琉球は全員盛り上がったので一番良かったと思う。ウチナーネットワークの強化にはこういったイベント（無料イベント等）や、いろんな人が文化に興味持てるようワークショップ等を開催したり、地域のイベント等での演舞やボランティア。沖縄泡盛ナイトをもう一度開催する。このイベントを通してシドニーでのエイサーのことを知り、入団した。

・いい芸能の組み合わせだったと思うし、一団体として、もっと効果的に沖縄文化を発信できた。とても楽しかった。

・指導者から舞台への登場の仕方等、イベントのプロデュースや演出を学べたので私たちがもっとプロのように見えたと思う。また、もっと良くなれるような学び方やコツを教わった。とても良い経験だった。

・すべての演舞がおもしろかった、良いステージでした。
・プログラムで一番印象に残ったのはエイサー演者とフィナーレで観客もステージに上がって踊っていた（カチャーシー）ところだった。人を引き込み、沖縄文化を発信していく事はウチナーネットワークの貢献になると思う。

・音楽と踊りが一番印象に残った。将来的には沖縄の伝説やお話しをもっと入れたり、沖縄の信仰や食べ物、歴史の説明もあっていいと思う。



5-1 事業概要 ペルー

- 1) 派遣先： ペルー沖縄県人会
- 2) イベント名： 琉球ダイナミック
- 3) 日時： 2020年2月16日(日)13:00~17:00
- 4) 指導内容： 獅子舞（基礎練と演舞、道具修繕法）、琉球舞踊（湊くり節、護身の舞）
- 5) 指導者： 宮城 直仁（創作芸団レキオス 副団長／事務局）
玉那覇 ロミナ・エルバ（玉城流冠千会 教師）
- 6) 派遣期間： 2020年2月9日(日)~ 2月19日(水)
※台風19号の影響により、10月から2月に延期して実施した。

7) 県人会概要:

1910年設立。現会長は山城ホルヘ晃氏。会員数は2,365人(2017年時点)。
南米で初めて日本人が移民した国で、日系人の約7割が沖縄にルーツを持つといわれている。
年間を通して、沖縄まつり、オキナンピアード、イチャリバチョーデーなど、数多く沖縄に関するイベントを開催しており、毎年10月に開催される「ウチナー演芸会」で世界のウチナーンチュの日を盛り上げる企画を進めている。県人移住から110年余の月日を経ても、沖縄文化を守り、受け継ぐという強い意志のもと、指導者不足に悩む琉球舞踊と獅子舞の指導者の派遣を希望している。

8) 会場

ペルー沖縄県人会館



会場ホール外観



2Fには沖縄移民の歴史展示

5-2-1 ペルー旅行行程（2月9日～2月19日）

ペルーへの沖縄文化芸能指導者派遣の全体スケジュールは以下の通りである。
（※10月12日出発の予定が台風の影響により、2月に延期になった）

④ペルー沖縄県人会 ペルー派遣スケジュール				
日数	日付	発地/滞在地	発時間	着時間
1	2/9日 (日)		9:30	指導者（宮城、玉野島）集合
		那覇	11:55	那覇発、UA798便にて空路、成田へ向け出発
		成田		14:20 成田着
		成田	17:05	成田発、UA6便にて空路、ヒーストンへ向け出発
				---日付変更線---
		ヒーストン		13:55 ヒーストン着
		ヒーストン	15:05	ヒーストン発、UA854便にて空路、ペルーリマへ向け出発
2	2/10日 (月)	ペルー		22:40 ペルーリマ着
				県人会迎え
		リマ市内		1:00 スティ先へ移動 休憩
		日系人協会	14:00	15:00 ペルー移民資料館 視察・案内（日系人協会ビル内）
		日系人協会	16:00	16:30 ペルー日系人協会会歌等 ◎日系人協会
3	2/11日 (火)	日系人協会	18:00	20:00 琉球舞踊（演・くり節）年齢やレベルの見極めを行いながら指導 ◎日系人協会
		日系人協会	19:00	22:00 獅子舞（青年部：柔軟体操、基本動作、チームプレイゲーム） ◎日系人協会
		日系人協会	20:30	22:30 琉球舞踊（腰身の舞）年齢やレベルの見極めを行いながら指導 ◎日系人協会
		空港着		22:40 米平田コーディネーター、大瀧、ハヤカワ、ペルーリマ着
		リマ市内	11:00	12:00 ホテルへお迎え
		アエルクラブ	14:00	17:00 ワークショップ（化粧、着付け、披露など） ◎アエルクラブ
4	2/12日 (水)	日系人協会	17:00	18:00 安藤蘭氏とイベントに向けた打ち合せ ◎日系人協会
		日系人協会	18:00	20:00 琉球舞踊（演・くり節） ◎日系人協会
		日系人協会	19:00	22:00 獅子舞（青年部：基本動作、獅子舞ペアでの自由演舞） ◎日系人協会
		日系人協会	20:30	22:30 琉球舞踊（腰身の舞） ◎日系人協会
		ペルー沖縄県人会	9:00	10:15 ペルー沖縄県人会（AOP）へ
		シンナイセンター	11:00	12:00 ワークショップ ◎シンナイセンター（AOP）
5	2/13日 (木)	日系人協会	16:00	17:00 日系人協会へ移動
		日系人協会	18:00	20:00 琉球舞踊（演・くり節：手鼓を覚えて曲に合わせる練習） ◎日系人協会
		日系人協会	19:00	22:00 獅子舞（青年部：基本動作、音楽に合わせて自由演舞） ◎日系人協会
		日系人協会	20:30	22:30 琉球舞踊（腰身の舞：空手の手形を中心に練習） ◎日系人協会
		リマ市内	10:00	15:00 リマ市内散策
		日系人協会	18:00	20:00 琉球舞踊（演・くり節） ◎日系人協会
6	2/14日 (金)	日系人協会	19:00	22:00 獅子舞ワークショップ（青年部：獅子の由来説明、獅子をぶつての演技演舞） ◎日系人協会
		日系人協会	20:30	22:30 琉球舞踊（腰身の舞：空手の部を中心に練習） ◎日系人協会
		日系人協会	17:00	18:00 準備打ち合せ
		日系人協会	18:00	20:00 琉球舞踊（演・くり節：全員での歩き方、姿勢について練習） ◎日系人協会
		日系人協会	19:00	22:00 獅子舞（青年部：基本動作、獅子を振り回す演舞の練習） ◎日系人協会
		日系人協会	20:30	22:30 琉球舞踊（腰身の舞：曲当て、手直し） ◎日系人協会
7	2/15日 (土)			
		ペルー沖縄県人会	14:30	17:00 キムタカ会向けセミナー・ワークショップ ◎ペルー沖縄県人会館
		ペルー沖縄県人会	15:00	16:00 琉球舞踊（演・くり節：増当たり、リハーサル、衣裳の確認） ◎ペルー沖縄県人会館
		ペルー沖縄県人会	15:00	16:00 獅子舞（青年部：メンバーを起しリハーサル） ◎ペルー沖縄県人会館
		ペルー沖縄県人会	16:30	18:00 琉球舞踊（腰身の舞：増当たり、リハーサル、衣裳の確認） ◎ペルー沖縄県人会館
		ペルー沖縄県人会	18:00	20:00 ダイナミック琉球 ◎ペルー沖縄県人会館
8	2/16日 (日)	ペルー沖縄県人会	9:30	10:30 ペルー沖縄県人会館へ
		ペルー沖縄県人会	10:30	12:00 イベント準備「化粧、着付け準備、車庫確認等」
		ペルー沖縄県人会	13:00	14:00 イベント名「琉球ダイナミック」：式典、昼食会、沖縄県PR動画・知事メッセージ
		ペルー沖縄県人会	14:00	17:00 イベント名「琉球ダイナミック」：舞台プログラム、指導者演舞披露
		リマ市内	13:00	15:00 意見交換会（県人会、関係者）
		空港着	20:00	21:00 空港到着
9	2/17日 (月)			
				「出国審査・通関手続・搭乗手続」
		ペルー	23:55	ペルーリマ発、UA887便にて空路、ニューアークへ向け出発
				---日付変更線---
		ニューアーク		7:45 ニューアーク着（ニューアークバティ空港）
				「出入国手続・通関・荷物受け取り」～再入国
		ニューアーク	11:00	ニューアーク発、UA79便にて空路、成田へ向け出発
10	2/18日 (火)			---日付変更線---
		成田		15:00 成田着
				「入国審査・通関手続・搭乗手続」
		成田	18:20	成田発「ユナイテッド航空7972便」にて空路、那覇へ向け出発
		那覇		21:35 那覇着
11	2/19日 (水)			
		成田		15:00 成田着
				「入国審査・通関手続・搭乗手続」
		成田	18:20	成田発「ユナイテッド航空7972便」にて空路、那覇へ向け出発
		那覇		21:35 那覇着

5-2-2 指導実施概要

1) 実施概要

ペルー沖縄県人会が世界のウチナーンチュの日をPRするイベントを2月16日（日）に開催するのに合わせて、以下のとおり芸能指導者を派遣し、琉球伝統芸能の指導を行い、現地でのワークショップやイベントへの出演などを行った。一方、平田コーディネーターは現地、高齢者向けの芸能紹介演舞を披露するほか、沖縄留学経験者の若者たちを中心の踊りや、次世代合同バンドへの歌唱指導、演奏の助言を行った。

①指導者 宮城 直仁（創作芸団レキオス）

玉那覇 ロミナ・エルバ（玉城流冠千会）

派遣期間：2020年2月9日(日)～ 2月19日(水)

②総合コーディネーター 平田 大一

派遣期間：2020年2月9日(日)～ 2月19日(水)

2) 指導の様子 ペルー沖縄県人会のメンバーへ琉球舞踊、獅子舞の指導を行った。



琉球舞踊の指導の様子



深く腰を落として、獅子舞のトレーニング



湊くり節の小道具である陣笠作り



完成した手作りの陣笠



獅子舞のメンテナンス



獅子舞のメンテナンス

3) ワークショップ等の実施状況

①南島詩人平田 大一のソロワークショップ

会 場：ペルー沖縄県人会館

日 時：2020年2月12日（水） 11:00～12:00

観覧者：120人（日系のデイサービスの高齢者と職員、施設スタッフ）

演舞者：平田 大一



三線や太鼓、三板で即興バンド結成！



演舞を楽しんで貰いながら高齢者はケアを

②キムタカ会、青龍エイサー会、バンドの合同稽古

会 場：日系会館ホール

日 時：2020年2月14日（金）19時～21時半

観覧者：25人

指導者：平田 大一



エイサーとダンスとバンド初の合同練習！



「ダイナミック琉球」創作の経緯と想いを聞く

③「キムタカ会」の次世代若者リーダーを中心としたワークショップ テーマ「ウチナーネットワークを継承するために私たちができること」

1) 沖縄文化講座「くるちの杜100年プロジェクト」と「現代版組踊」の取り組みなどを紹介

2) 世界のウチナーンチュ大会テーマランキング及び、JICA事業の紹介と共通項をさぐる

会 場：ペルー沖縄県人会館

日 時：2020年2月15日（土） 14:30～17:00

受講者：現地若者22人、JICA関係者4人、記者2人、他スタッフ5人

講義者：平田 大一、磯貝 白日（JICAペルー事務所次長）、他

4) イベントの実施状況

- ①イベント名：琉球ダイナミック
- ②実施主体：ペルー沖縄県人会
- ③来場者：330人
- ④演舞者：116人
- 獅子舞 19人
- 琉球舞踊 39人
- エイサー 18人
- きむたか会 14人
- 合同バンド 11人
- 三線・地謡 12人
- 歌唱 3人



⑤プログラム：

- 1 歓迎と感謝の言葉 / ペルー沖縄県人会長 山城 晃
- 2 派遣団代表挨拶（沖縄県知事あいさつ）/代読：大城 友恵（沖縄県交流推進課班長）
- 3 記念品贈呈
- 4 指導者への感謝状贈呈
- 5 かぎやで風 / 野村流、キムタカ
- 6 イワミ節 / 野村流
- 7 浮島節 / 野村流
- 8 ビデオメッセージ / 玉城 デニー（沖縄県知事）
- 9 瓦屋節 / 玉那覇 ロミナ
- 10 御知行（チョンダラー） / 宮城 直仁
- 11 海の声 / 佐野 マサキ
- 12 湊くり節 / 玉那覇ロミナ、ワークショップ生徒たち
- 13 獅子舞 / 宮城直仁、ワークショップ生徒たち
- 14 コンドルは飛んで行く / HUN WO KIM
- 15 QUENA / HUN WO KIM
- 16 護身の舞 / 玉那覇ロミナ、ワークショップ生徒たち
- 17 メンソーレ / キジムナー
- 18 汗水節 / キジムナー
- 19 アサドヤユンタ / キジムナー
- 20 芭蕉布 / 柳清本流柳清会
- 21 ウチナンチュヤイビーン / 伊芸 ケンジ
- 22 クンジャンサバクイ / 宮城 直仁
- 23 夢の鼓動 / 宮城 直仁
- 24 壽の舞 / 玉那覇 ロミナ
- 25 琉球の風 / 柳清本流柳清会
- 26 ミルクムナリ / 琉球國祭り太鼓、平田 大一
- 27 肝高の詩（歌太鼓、ギター） / 平田大一、新垣ハイメ
- 28 Dynamic琉球 / キムタカ会、青龍エイサー会、ペルー若者合同バンド、平田大一、宮城直仁
- 29 カチャーシー / フィナーレ



踊りで次世代に引き継がれる沖縄のちむぐる



練習曲「湊くり節」披露



鍛錬の成果で獅子舞が復活！



現地エイサーグループと共演！



躍動感溢れる「ダイナミック琉球」を！



フィナーレは会場一体のカチャーシー！

5-2-3 指導者帰国後の所感

■宮城 直仁（創作芸団レキオス 副団長／事務局）

訪問前は、現地の方々がどのレベルなのかが不安であった。実際に指導を始めると、全員が初心者であり6日間の指導で、どこまで持って行けるかが課題だった。しかし指導を真剣に受ける姿勢から「上手になりたい」「学びたい」という思いが見受けられた。それほど沖縄の芸能（獅子舞等）に対し興味・関心があるのだろう。

今回、指導者が一人だったので見本とする場合に難点があった。本来なら獅子舞は二人一体となり演舞するものであり、玄人が二人体制で指導するべきであろう。今後の課題とする。

指導以外での質疑応答では、動き、技、由来等たくさん意見が交わされた、やはり芸能を行うにあたり、目に見えるものだけではなく「意味」「思い」も知っておく必要がある。

現地でも芸能が正しく継承されていけるよう今後も指導者派遣事業は継続するべきである。この度、同行された、他芸能指導者様、県職員の皆様、旅行社様、大変お疲れ様でした。

Hasta luego

■玉那覇 ロミナ・エルバ（玉城流冠千会 教師）

今回、一週間しか練習する時間がなくて、手数を教えることと、曲当てで精一杯でした。もう少し沖縄の伝統芸能、踊りの基本を教えることが出来なくて残念でした。練習の成果もあり本番は、全員が心から一生懸命踊っていることに感動しました。

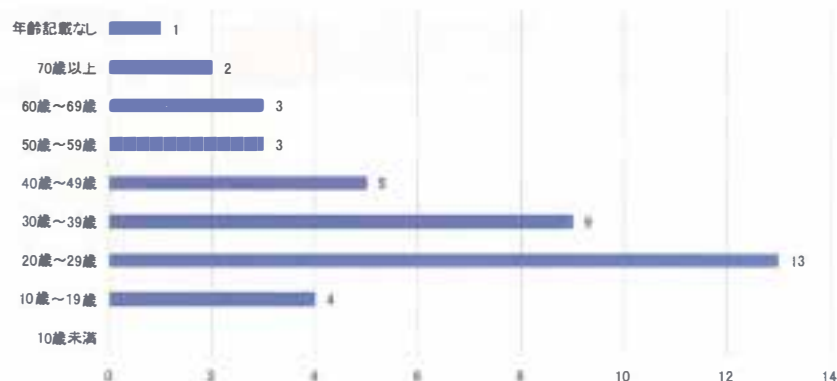
ペルーで沖縄の踊りを指導して、ウチナーチューは世界のどこにでもいる姿に改めて感じました。

とてもいい勉強になりました。

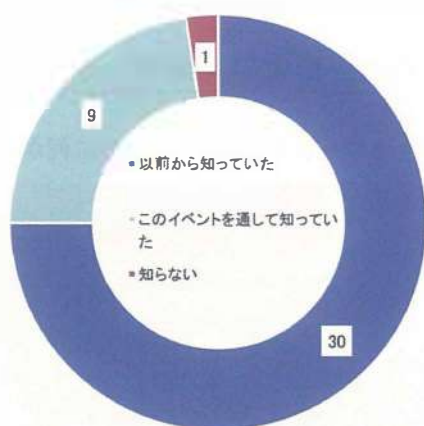
沖縄の芸能はすごい、続けて良かったと思います。これからも広めていきたいと思いました。

5-2-4 参加者アンケート

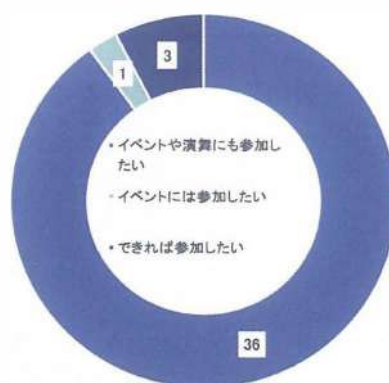
①年代を教えてください



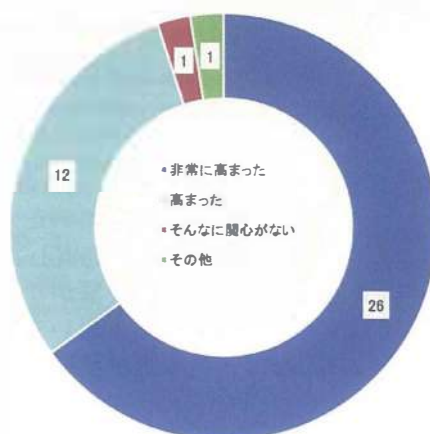
②世界のウチナーンチュの日を知っていますか？



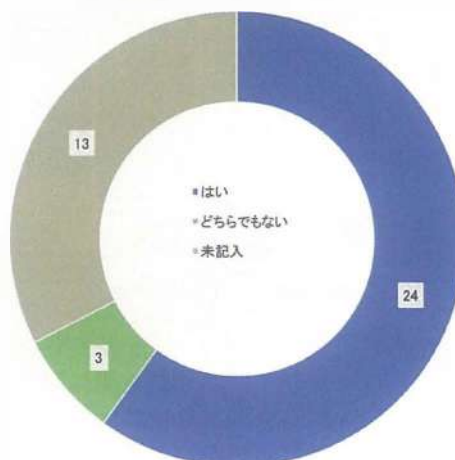
③沖縄県人会が「世界のウチナーンチュの日」のイベントを開催した場合参加したいと思いますか？

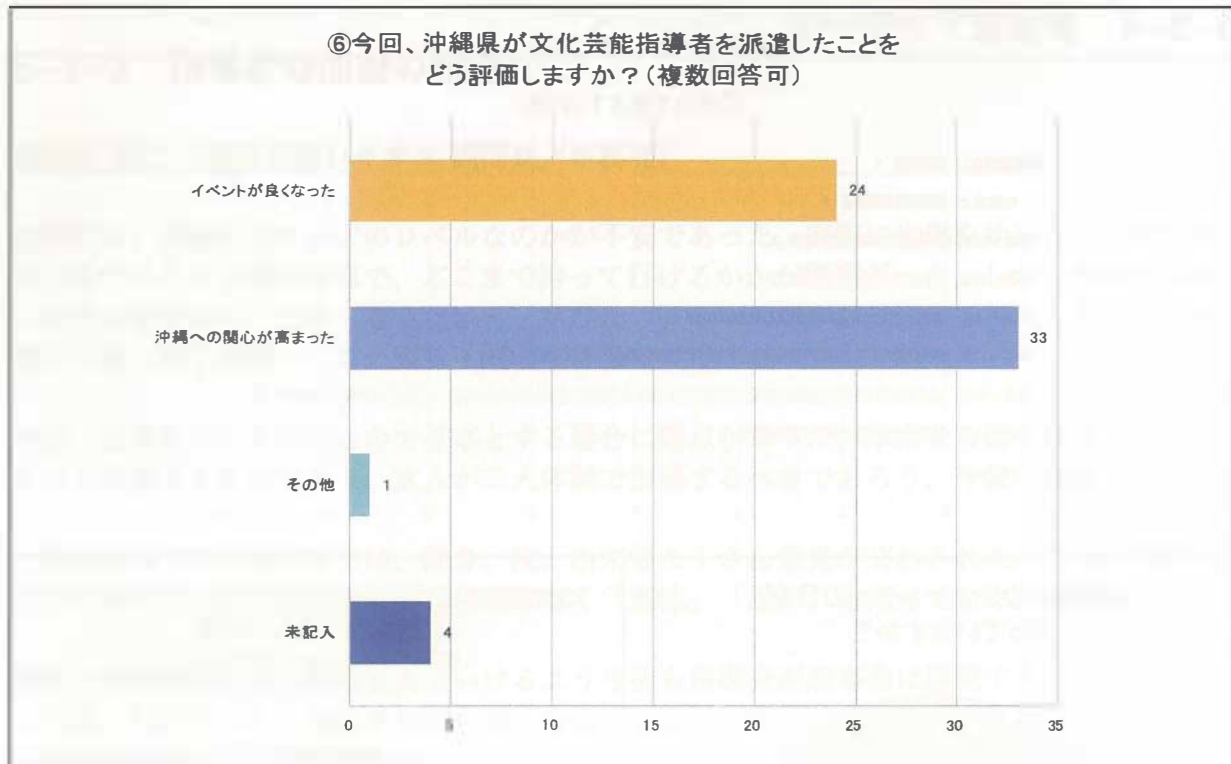


④今回のイベントに参加して、沖縄の文化・芸能や「世界のウチナーンチュの日」について関心が高まりましたか？



⑤指導を受けたことを今後も継続して他の県人会イベントでも披露したいと思いますか？





⑦プログラムで一番印象に残っていること、またウチナーネットワークを強化するために何が必要か、その他の感想などがあれば教えてください。

・全体のプログラムは、興味深かった。沖縄と海外の更なる相互交流があれば良いと思う。

人は、自分の環境を離れるとき、以前に気付かなかった自分のアイデンティティーについて気付き始めることがよく起こります。

・文化芸能に関するワークショップがとても興味深かった。SNSやネットを使うことで、世界中のウチナーンチュが常につながることができネットワークが強化できるのではないかと思います。

・アイディアや機会が発生しない一番大きな壁は、言葉なので、言語支援の窓口を設置して欲しい。


・ウチナーンチュ大会の動画を見て、表現するエネルギーや賑やかさに驚きました。メンバーになったり、ウチナーネットワークを推進したい気持ちになります。

・遠い距離と言語の壁にかかわらず、ウチナーンチュの気持ちは、一つという事が良かったです。先生たちや担当・係の人たち、皆の沖縄に対しての愛情が伝わりました。沖縄から先生が指導に来ることが、沖縄文化に対してより高く興味を持ち、もっと多くの指導者に来てもらいたい。ありがとうございました。

・世界に与える物が沖縄には、多い。プログラムは、良かった。優秀な指導者を派遣していただいたり、ハードな一週間の中で、彼らの芸能と技術を見せてもらって良かったです。人生を充実してくれたり、ウチナーンチュとして、誇りを持たされた。この事業は、子供達が対象で、彼らと繋がりある音楽と踊りを感じさせたり、沖縄芸能と更にアイデンティティーを感じさせる狙いがあると思います。各練習や本番の披露でも感じた、アーティストたちの強い精神と気持ちです。日本語が理解できないことに関係なく、感動しました。どうもありがとうございました。

「沖縄文化芸能指導者派遣事業」で現地に赴いた指導者の皆さんから、その成果と可能性について、映像や体験談を交えてご報告して頂く会を企画しました。

沖縄県が2016年に策定した「世界のウチナーンチュの日（10月30日）」を普及させるため、世界のウチナーネットワーク強化推進事業が計画「文化活動を通じた、次世代へのウチナーチムグクルの継承」をはかることを主たる目的に「沖縄文化芸能指導者派遣事業」を行なってきました。今回は、2018年度三カ国（オハイオ州、イリノイ州シカゴ、バンクーバー）、2019年度三カ国（ロンドン、シドニー、ペルー）に加え、福建省エイサーチャンピオン大会でも中国福建省福州市にエイサー派遣された事例等も含め、現地に赴いた指導者の皆さんから、その成果と可能性について、映像や体験談を交えてご報告して頂きます。2021年の「第7回世界のウチナーンチュ大会」の開催計画も発表されたこのタイミングでの世界のウチナー県人会の皆さんの熱い想いと、それに応えようと奮闘する指導者の皆さんの熱いエネルギーに是非触れてください！




沖縄文化芸能指導者派遣事業 2018年度～2019年度 成果報告会

■日時

2020 3/1

14:00～16:00




■場所

エイサー会館講座室
(ミュージックタウン音市場1階)

入場無料

プログラム 進行役: 平田大一

1. 開会の挨拶
2. 事業紹介
3. 報告会前半(2019年度)
 - ー 沖縄沖縄県人会派遣 / 園田青年会
 - ー シドニー沖縄県人会派遣 / 新里智紀、古波瀬正博
 - ー ベルギー沖縄県人会派遣 / 宮城直仁、玉部朝日ミナ・エルバ
4. 報告会後半(2018年度)
 - ー オハイオ州沖縄友の会派遣 / 関根晃青年会
 - ー シカゴ沖縄県人会派遣 / 上江洲安寿
 - ー バンクーバー沖縄県友愛会派遣 / 亀井貴典、宮城直仁
5. クロストーク
「2021年の世界のウチナーンチュ大会に向けて」
6. 閉会の挨拶



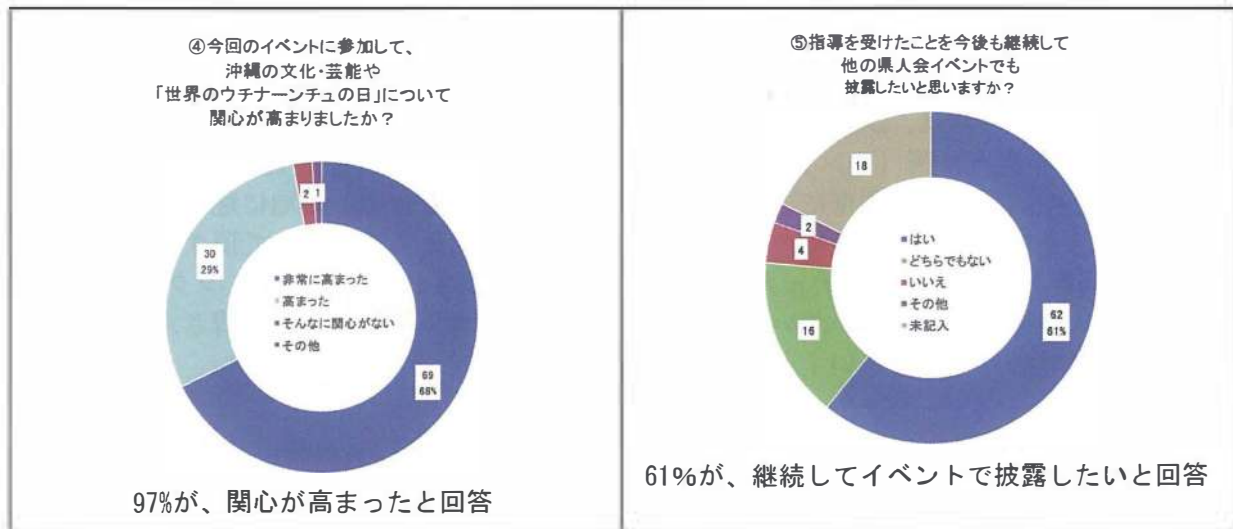
※報告者及びプログラムを変更する場合があります。

主催: 沖縄県文化観光スポーツ部 交流推進課

41

1. 県人会の組織の多様化が進み、実情は地域性など様々な要素がある
2. 地域性や県人組織の特性に合わせた指導者の派遣で課題解決も可能
3. 指導者の派遣を通して、世代間と地域間の交流を図り組織運営を拡充

▼ 参考資料 派遣先3都市（ロンドン・シドニー・リマ）の参加者アンケート合計



今回の派遣事業を通じ、一口に「県人会」と言っても、その組織の置かれた状況や環境、地域性によっても課題や可能性も様々であることをあらためて実感しました。

人口交流の激しい都市部では担い手となる県人リーダーが根付かず縮小化、世代間の意識格差が生み出されている一方、芸能を通じての文化活動は盛んで県系人以外のメンバーによる文化活動は活発です。

また、移民史120年を誇る南米のように大規模なコミュニティを形成している地域では、中堅・次世代の精神性やアイデンティティーへの希求が顕著で、例えば、芸能や催事における「意義づけ」や「意味合い」に対して強く答えを求めてくる傾向性があります。その問いに的確に対応し解説できる指導者やリーダーがいない場合、芸能催事はもちろん、広範的に見れば県人組織の継承でさえも形骸化する恐れが出てくる可能性があると思いました。

その意味で、この派遣事業には多くの可能性があると思います。単なる芸能指導者の派遣に見えて、実際は世代間の交流を促し、「ウチナーチムダクル」の明確な答えを明示し、更には地域間の交流も実現させました。豪州のシドニーは遠く離れたパース地域の県人組織と初めての合同イベントを開催し、稽古や公演を通じて文化交流、人間交流のうねりが生まれました。英国では三線クラブを中心とした文化活動が県人会活動とゆるかに連動するカタチで新たな運営の方法を見出せると確信致しました。また、ペルーの様に派遣指導者の助言やアドバイス、発する言葉や思いに触れ、これまで牽引してきた先代の先輩たちを敬い、ややもすると方向性を見失いそうな団体運営にも自信を持つことが出来ました、そんな「にぬふあ星」のような「派遣者達」の存在が、一番の成果なのではないでしょうか。結びに、派遣されたメンバーの「所感」「感想」を読んでも分かる通り、派遣された指導者にも、多くの学びと気づきを与える効果があることも補足記述しておきたいと思います。

今後も芸能や文化を活用した、県人会活動の活性化とウチナーネットワークの強化がさらに広がることを願うとともに、自分自身も当該事業に関わったことを心から誇りにしたいと思います。

(総合コーディネイター 平田 大一)

第2章 メディア掲載事例

2-1 新聞・フリーペーパー

1) 琉球新報 2019年10月31日

琉球新報 2019年10月31日

「いざゆかん、我らの家は五大州」という移民の父・曾山久三の言葉の通り、沖縄から世界へ羽ばたいて行った多くのウチナーンチュたち。世界中に広がったウチナーネットワークがますます繁栄するようにと願いを込めて制定された「世界のウチナーンチュの日」。昨日、10月30日は、沖縄を愛する全ての人をつなぐ特別な日なのだ。

小雨のばらつく9月29日、ロンドンのトラファルガー広場で「ジャパン祭り」が開催された。沖縄市園田青年会の澤岬幸一郎さん、宮里洋一さん、金城美紗さんが、ロンドン沖縄三線会のメンバーと共に舞台上で力強いエイサーを披露してくれた。

沖縄文化芸能指導者派遣で1週間渡英されていたのだ。全島エイサー祭りでも優勝経験がある園田青年会のエイサーはすごい迫力で、会場で見ている私もチムドウンドウン。世界中から集まった観光客も、興



渡名喜 美和
英国沖縄県人会会長

祝・世界のウチナーンチュの日

南風

味深そうに見入っていた。10年以上前にロンドン三線会に初めてエイサーの指導をしてくれたのが、当時の園田青年会だったそうだ。まさにウチナーネットワークが広がっている。

派遣期間が1週間と短く、連日の猛特訓。本番前日も基本の動きを何時間も繰り返し練習していた。そのお陰で、メンバーは短期間なのに素晴らしく上達していた。メンバーの平川さんは、太鼓の代わりに手拍子で練習をしていたら、叩き過ぎて手の平を打撲したそう。宮里さんは、疲れのためか体調を崩して救急病院へ行くというハプニングもあったという。

沖縄から同行された県庁の仲村さんをはじめ、裏方で頑張ってくれた皆さんに感謝したい。沖縄を愛するみんなの思いが一つになつて、エイサーパフォーマンスは最高でした。私もロンドンの片隅で、ウチナーンチュとして生まれた事を誇りに思える一日でした。

2) 琉球新報 2019年11月14日(木) 2頁

県への寄付、1億円突破

首里城焼失を受けて県に寄せられた寄付が13日、1億円を突破した。再建に向けた資金として支援を呼びかけている県が13日に発表した。オーストラリアのシドニー沖縄県人会（浦崎政美会長、会員12人）は10日にシドニー市内で主催した「沖縄くるる祭」で寄付を呼び掛け、約5万3千円を県に寄付した。



沖縄くるる祭は初開催で、祭直前の10月31日に首里城が消失したことを受ける募金箱に寄付する一助がある。問い合わせは県土木総務課098(866)2384。

EVENT REPORT

シドニー各所で開かれている
イベントを不定期サポート！



新里森加人らによる統計数値 ©Kajiko Igami



全パート担当さんは、新しいエイサー・ダンス・ブルー・レイ・フォー・ア・ス

沖縄の芸能文化をシドニーへ 沖縄ソウル・フェスティバル「くる祭」

シドニー東郊パディントン(Paddo)のRSL Auditoriumで11月20日、沖縄ソウル・フェスティバル「くくる祭」が開催された。「くくる祭」は、沖縄県のバックアップの下、毎年世界3カ所で行われている沖縄の芸能音楽祭で、今年は開催地の1つにシドニーが選ばれた。盛況のうちに幕を閉じた「くくる祭」をレポートする。(取材・文＝島場一純)

240席全てが完売し、立ち見客も出るほど盛況のうちに幕を閉じた神岡ソウル・フェスティバル「くるとん」。訪れた客の大半がロカールのオーストラリア人というところもあり、神岡の伝統芸能と力を海外のロカール・コミュニティに伝えるという目的は十分達成されたと見えていそうです。

玉城デニー・神崎順知事のビデオ・メッセージから節を削いだイベントは、シドニー・神崎取組人会の浦崎政実会長、神崎順文化観光スポーツ部の伊田幸司部長、紀

ボレーションで、三線の音をバックに「島唄」の合唱も行われた。

イベント監修には、本イベントの総合プロデューサーである平田大一さんが作詞した、現代版エイサのバックミュージックとして人気を誇る『ダイナミック球球』のパフォーマー、鋭い迫力の著名な獅子舞が登場するなど、派手な演出が続き、最後は、観客を巻き込んだカチャーシー（沖縄民謡の演奏に合わせた踊り）で大団円となった。

「くる祭」の活動の興味深い点として挙げられるのが、実は同イベントは開催それ自体が主目的ではないということだ。本来の目的は、イベント開催をきっかけに沖縄から来たプロたちが現地で沖縄芸能を学んでいる人

びとを所導する、その過程にこそある。

2016年、沖縄県は10月30日を「世界のウチナーンチュの日」と制定し、それをきっかけに、毎年世界の3都府で沖縄の芸能文化を啓蒙するイベントを開催を始めた。イベントでは、現地の演者がバブ・フォークスを披露すが、同趣は指し手不足、多くの人がYouTubeなどインターネットの教材から学んでいるというが引續け、沖縄県はそのニーズに応えるべく、世界に指導者を送り出す活動を開始したのである。今宵プロの指導者は51回と短いものではなかったが、その成果が目覚ましいものであったことはイベントを訪れた観し手も感銘と心ぞろぞろ。オーストラリア初開催の「くくる歌」の成功を喜ばせた。

インタビュー

「くる家」総合プロデューサー
平田大一さん

——イベント企画に向け、演者を発掘していく過程こそが「くる祭」の本来の目的だと聞かれています。

正式名は沖縄文化・芸術消息事業というのですが、世界中にいる42万人のうちネット・ワークを活性化していくことを目指して活動を続けてきました。沖縄の人口は約140万人ですが、国外にも数々の帰国者がいるということで、血がつながった「うさなんち」だけではなく、沖縄が大好きな人も食べて、うさなネットワークとして活動し

各県の県人会を中心に、エイサーであったり三線であったり、うちなんちゅが大好きな人たちが大勢いるのですが、指導者がいな

いというのが大きな原因になっています。ある団体はインターネットで動画を見て練習していると聞きました。そこで、今回も指導者を派遣して欲しいというリクエストに応える形で、エイサーと現状局員、黒子舞と三線の動画を渡して取りました。

毎年刊行の開催で、世界3カ国に限定しており、今年はロンドン、ベルリン、シニョで催されました。この事業は、ただ観るだけではなくて最後イベント形式の成果発表がある点が非常に大きいと思います。この取り組みから、達成感と共にみんなが1つになれます。沖野氏で言うところの「いちやっぱちよーでー」ですね。「行き会えばみんな良い、だ」ということが体現できる取り組みだと感じます。

今回は、シドニー・オリンピックのホー・紅美子さんや、シドニー・エイサー・チャンプルーのタガート・安江さんなど、うちなんちゃであることを誇りに思い、オーストラリアで活動

する若いメンバーが返
答してくれました。パ
ースからも満席が来ら
れましたし、瀬州の農
会の夜明けになったの
ではないかとワクワクし
ました。

— シドニーの印象はいかがでしたか？
ワーキング・ホリデーを始め、日本から多くの若者が来ているからか、地元の人たち、ローカルの人たちが日本人に対して、そして「うちなんちゃ」に対してすごくフレンドリーな感じがします。新しいコミュニティが生まれやすい土地なのかなという印象を調査しました。

——シドニーでのイベントも成功裏に終えられましたが、今後の展開についてはいかがで



すか。

2021年には「世界のう
ちなんち○大会」という大
きなイベントがあります。世
界中にいる「うちなんち○」
が戻って来るという会です。
今回の選挙でたががホストに
なって皆さまをもてなしま
すので、ぜひ海外の人衆会
の皆さまにも出向に来て頂
け、新しい出会いが作れら
いれないと思います。今回
きかけになったのではない
すか。

ひらいたい・ち◎1968年、沖縄県八重山、小泉島生まれ。
13歳の頃から「後身詩人」を名乗り、詩人、演劇家として演
劇の制作活動を開始。大学卒業後、シマの文化と産業を体
験する「小泉島むじり研究班」を立ち、文芸を基とした
地域活性化を図る。2011年沖縄県文化観光スポーツ部長。
13年から沖縄県文芸委員会理事に就任。沖縄文化の周
知活動に力を入

[illegible]





Max
26°C
Minima 21°



Lima mayormente nublado
Prob. Precipitaciones: 10%
Humedad: 88%
Viento: 17km/h
Fuente: weather.com

Precio: S/. 2.00 Edición Bilingüe: Depósito Legal N.º 2001-1608 Circulación: Nacional e Internacional

Año LXIX N.º 21 482 | «AÑO DE LA UNIVERSALIZACIÓN DE LA SALUD» | Miércoles 12 de febrero del 2020

(p. 5)



Aeropuerto de Osaka, el primero en Japón en tener un baño solo para perros

(p. 4)

Castañeda Lossio: Fiscalía estima condena de 35 años por tres delitos

(p. 4)

¡Adiós libreta con números! Docentes harán evaluación cualitativa de escolares

(p. 5)

Ghosn junto a expresidente de Disney para una posible película sobre su vida

(p. 7)

NASA lanza Solar Orbiter, la nave que estudiará de cerca los polos del Sol

(pp. 8 y 9)



(p. 16)



Profesores de danza okinawense visitaron APJ

日本語版の主なニュース

- 第8回日系諸団体代表者会議開催
- 2020年の第一四半期のペルーの経済成長率は2.8%となる見込み
- 第5回AELU杯アンダー15野球大会においてネグレイロスが優勝



Instituciones okinawenses hacen donativo para reconstrucción del Castillo de Shuri



Con la finalidad de colaborar con la reconstrucción del Castillo de Shuri, el presidente de Perú Chantan Chojinkai, Kisey Tsukayama; el de Perú Kitanakagusuku Sonjinkai, Roberto Higa; y el de Perú Nakagusuku Sonjinkai, Ángel Shiota entregaron donativos al presidente de la Asociación Okinawense del Perú, ingeniero Jorge Akira Yamashiro.

Como se recuerda, un gran incendio afectó el pabellón central del emblemático Castillo de Shuri en octubre pasado. Dicha edificación es una icónica atracción turística de la prefectura japonesa de Okinawa y símbolo de la recuperación de esta isla tras la Segunda Guerra Mundial.



Delegación okinawense visitó la APJ

El lunes 10 de febrero se realizó la visita de la delegación okinawense conformada por Neobito Miyagi, especialista en el cuidado y mantenimiento del Shishimai (león okinawense), subdirector de «Creative Art Lequios», líder en la prefectura de Okinawa y dedicado principalmente a la presentación de danza de leones, así como ganador consecutivo del 2012 al 2014 del Festival Mundial de Eisa. También estuvo presente, como parte del cuerpo representativo de Okinawa, Romina Tamanaha, especialista en danza okinawense de la Universidad de Artes de Okinawa y profesora de Ryukyu Buo de la escuela Tamagusuku Ryu.

Los visitantes fueron recibidos por el presidente de la APJ Abel Fukumoto y los directivos de la institución, quienes destacaron los talleres de danza que dictarán en su estadía en Lima y la presentación que realizarán el domingo 16 en las instalaciones de la Asociación Okinawense del Perú, en donde se contará con la presencia de Daichi Hirata, gran artista y productor de diferentes obras, entre ellas Dynamic Ryukyu y Kimutaka no awari.



Lima, miércoles 12 de febrero del 2020

Profesores Romina Tamanaha y Naohito Miyagi
DICTAN TALLERES DE ODORI Y SHISHIMAI EN CCPJ

(viene de la pág. 1)

Este domingo 16, a partir de la 1 de la tarde, los mencionados profesores ofrecerán un espectáculo artístico, en el auditorio Junji Nishime de la AOP.

SALUDOS A LA APT

Por otro lado, el pasado lunes 10, Romina Tamanaha y Naohito Miyagi, acompañados de Miyuki Nakamura y Makoto Matayoshi, presentaron sus saludos al presidente de la Asociación Peruano Japonesa, Abel Fukumoto, en el Salón Dorado del Centro Cultural

En esta reunión, participo también el titular de la AOP, Akira Yamashiro, y algunos integrantes de su directiva.



TALLER DE ODORI



ペルー沖縄県人会「リュウキュウダイナミック」



「湊くり節」を踊るペルー沖縄県人会の会員ら
＝16日午後、ペルーリマ市の沖縄県人会館

県内実演家、現地で指導

【リマで藤村謙吾】ペルー沖縄県人会は16日（現地時間）、リマ市のペルー沖縄県人会館で芸能公演「リュウキュウダイナミック」を上演した。県の沖縄文化芸能指導者派遣事業で、9日からペルーを訪れている実演家が指導した会員らによる琉球舞踊や獅子舞などが披露された。若者たちの熱演に約300人の観客が歓声を送った。

若者ら“故郷”の芸能熱演

県は2017年からウチナーネットワークの継承と発展への貢献を目的に、沖縄の芸能を海外県人会などで伝える「沖縄文化芸能派遣事業」を始めた。「沖縄文化芸能指導者派遣事業」と改称した18年からは、指導者を米国や英国などの海外県人会に派遣し、現地芸能団体との継続的なつながりをつくっている。ペルーには県職員や同事業総合コーディネーターの平田大一さんと、玉城流冠千会（の玉那覇ロミナさん、創作芸団レキオスの宮城直仁さん）が派遣され、琉球舞踊や獅子舞を県人会の会員ら約60人に指導した。

舞台はペルー野村流音楽協会の「かぎやで風」で幕を開けた。獅子舞では、指導した宮城さんのドラに合わせて1匹ずつ登場した獅子。観客は熱い視線を送り、惜しめない拍手を送った。

玉那覇さん指導の「湊くり節」「護身の舞」は、真剣な表情で舞台上に臨む姿に会場が沸いた。最後は沖縄県費・研修生OB・OG会のキムタカ会や地元エイサー団体、平田さんら指導者が「ダイナミック琉球」の曲に乗せて踊り、カチャーシーで幕を下ろした。

系3世のタビット・リモンチ・タマモトさん（37）は「エネルギーあふれる指導で、沖縄の文化や歴史が身近に感じられた。沖縄を思う気持ちがより大きくなった」と話した。

平田さんは「礼に始まり礼に終わる、芸能の原点を伝えることを意識した。その心が伝わったと思う」と笑顔を見せた。

県人会の山城晃会長は「とても恵まれた機会を与えてもらい感謝している。今回学んだものを将来、他の会員にも伝えていってもいい」と話した。



Son vitales para nuestra colectividad okinawense y nikkei

Importancia del dictado de talleres por parte de profesores de Okinawa

Por: Mayaly Tsukayama y Angel Shiota.

Dedicado para los profesores y miembros de la Prefectura de Okinawa

Nuestros corazones se agitan de emoción al recordar la jornada dominical en la AOP. Un regalo como bálsamo de estos días tan aciagos de tantas pérdidas.

La prefectura de Okinawa y su kenjinkai en Perú nos brindaron los tesoros más preciados de nuestra isla. El llamado Softpower (el poder benéfico de la cultura y las tradiciones) Okinawense hizo temblar el auditorio Junji Nishime.

Los talleres dictados por los docentes y su fruto, el espectáculo Ryukyu Dynamic son una gran activación para el las tradiciones de Okinawa en Perú. Son semillas cuyos frutos veremos si continuamos con la labor.

Los profesores y los representantes de la Prefectura de Okinawa encabezada por Oshiro Tomoe san nos regalaron una joya de espectáculo. En nuestra opinión uno de los más emotivos presentados en Lima. Fue un homenaje al alma nikkei y okinawense como una contribución hacia el futuro.

En nuestro ser se grabarán los trazos precisos de sus movimientos en las danzas que ellos nos regalaron, una verdadera fortuna de arte. Gracias a las coordinaciones del equipo de trabajo de la Asociación Okinawense del Perú encabezado por su presidente Akira Yamashiro y su Directora de Cultura Karina Vallejos Kohatsu. El esforzado trabajo realizado por Nakama Miyuki san y Nagatake Oohama san y Andrea Hayakawa (con patriota nuestra del programa JET) de la Prefectura de Okinawa con el gran apoyo de Isogai Shiroshi san y Ishitsuka Yumiko san representante de JICA. Nos entregaron un festín de cultura okinawense.

Lo más trascendental son las enseñanzas entregadas por



los docentes Uchinanchus en sus talleres. Estos reiteramos constituirán el futuro de nuestro arte y nuestra identidad.

Hirata sensei (afamado artista y productor) Tamahana sensei (el más exquisito odorí) y Miyagi sensei (el arte de shibumai) en conjunto con la juventud nikkei, nos otorgaron una presentación cuya energía

hizo temblar el auditorio Junji Nishime.

En la actualidad es imprescindible el trabajo activación cultural en nuestra colectividad, pues con el paso del tiempo la identidad se observa más difusa, pues los Issai y Nisei se están marchando como también la realidad cambia de manera acelerada.

Las costumbres familiares de los inmigrantes eran integradoras con su tradición y su necesidad de cooperación para salir adelante. El paso de los años con sus nuevas generaciones redefinen una nueva identidad.

Esta puede contener elementos de aquellas generaciones (si cumplimos nuestros deberes de preservación) con nuevos enfoques, pues así el ser humano evoluciona siempre podrá mantener su espíritu de pertenencia, valores e identidad. Una cultura viva amalgamada con nuevos elementos.

Por lo cual es fundamental mantener los vínculos con nuestras raíces okinawenses. ella nos enriquecen con sus valores solidarios conectados

con su diversidad cultural divulgada en la presentación de esta inolvidable delegación prefectural.

La cultura de nuestros ancestros okinawenses expresa en su folklore éticas como el trabajo, la disciplina la honradez y la solidaridad para sobrevivir en condiciones extremas. Al difundir y practicar el arte-cultivamos sus valores. Son nuestros tesoros y fortalezas.

Los llamados Objetivos del milenio del milenio (cuya práctica y difusión lo lidera Japón con su reconocida agencia de cooperación internacional JICA y prefecturas como Okinawa) son parte inherentes a nuestra cultura Uchinanchus y practicadas desde siempre. Siendo un deber y compromiso nuestro como descendientes con el bienestar de nuestro mundo.

La respuesta a la pregunta inicial es por todo lo expuesto porque de hoy debemos construir el futuro de nuestra co-lectividad y nunca olvidemos de dónde venimos. Mirándonos con orgullo por nuestra raíces de ambas partes del Océano Pacífico.

第3章 派遣事業と連動した取り組みや、その他参考資料

* 首里城再建活動

2019年10月31日未明に焼失した首里城の再建に向けた支援の輪は、世界中の県人会にも広がっており、シドニーをはじめ、ペルーの二箇所では受付やスタッフによる、募金活動の取り組みも活発であった。特に、焼失後間もないタイミングでの派遣となったシドニーでは、祭りイベントと併せて再建に向けた願いが込められたメッセージやコメントが多数、寄せられた。



会場に手作りの募金箱が設置（シドニー）



県産グッズと並ぶ募金箱（シドニー）



会場入り口に設置の再建支援バナー（ペルー）



参加者の寄せ書きで支援の輪は更に（ペルー）

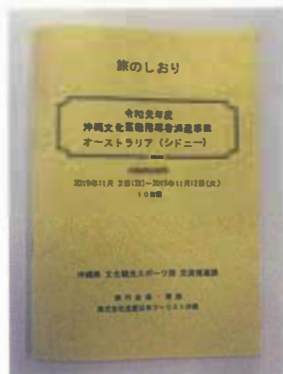


昨年12月首里城再建を願い上演した舞台グッズ



公演はペルー沖縄県人会の文化芸能の大祭典！

■旅のしおり



■ 関連資料



フライヤー
(ロンドン)



くる祭フライヤー
(シドニー)



ウチナーンチュの日PRポスターを掲示
(シドニー)